

宮城県地域医療構想策定に向けた 論点整理

2015.9.2 宮城県保健福祉部医療整備課

目次

- 1 医療提供体制の現状と課題**
- 2 医療需要の現状**
- 3 病床機能別必要病床数（推計）及び居宅等における医療の必要量（推計）**
- 4 目指すべき医療提供体制の実現に向けた留意点等**

1 医療提供体制の現状と課題

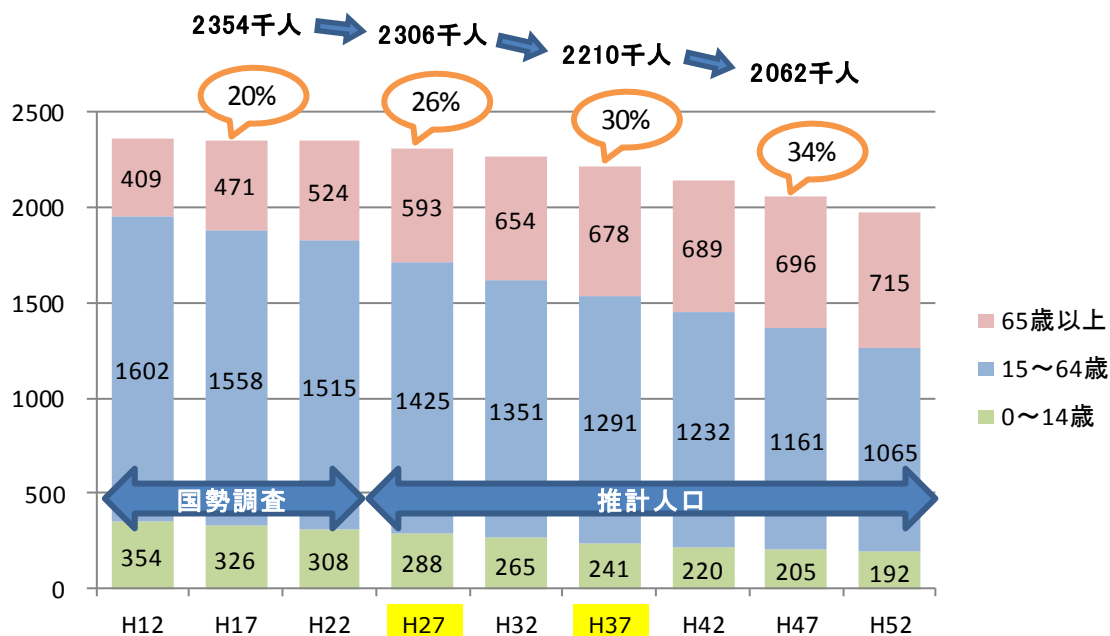
1-1 将来推計人口①

・国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、平成27～37年の10年間で、本県の総人口は2,306千人から2,210千人へと96千人減少する見通し。

・年齢階級別にみると、65歳以上人口は、593千人から678千人へと85千人増加し、平成37年の高齢化率は29.9%と、高齢者の大幅な増加と高齢化がさらに進展する見通し。

・なお、こうした傾向(少子高齢化・総人口の減少・高齢者人口の増加)は、推計期間のH52年までは継続する見通し。

年齢階級別人口の推移
(H12～H52)

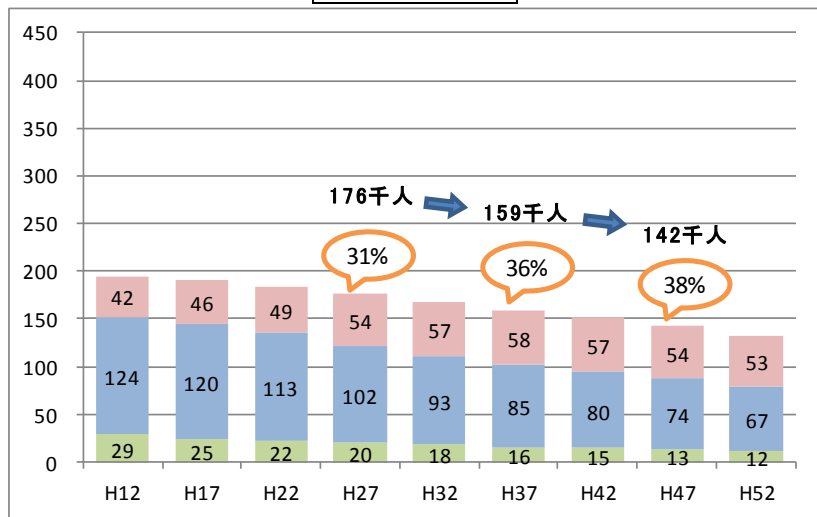


今後10年間で入院受療率の高い65歳以上人口が8万人強増加するため、高齢者特有の傷病を考慮した医療提供体制の確保が求められる。

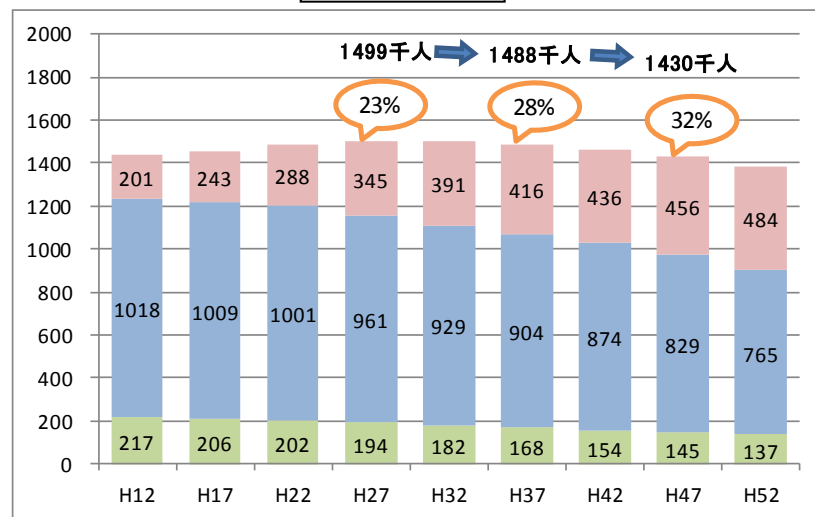
1-2 将来推計人口②

- ・仙台医療圏は、今後10年間で、総人口は横ばいであるものの、65歳以上人口は約20%(7.1万人)増加する見通し。
- ・仙台医療圏以外の3医療圏は、いずれも総人口は約10%減少し、65歳以上人口は5%程度増加する見通し。

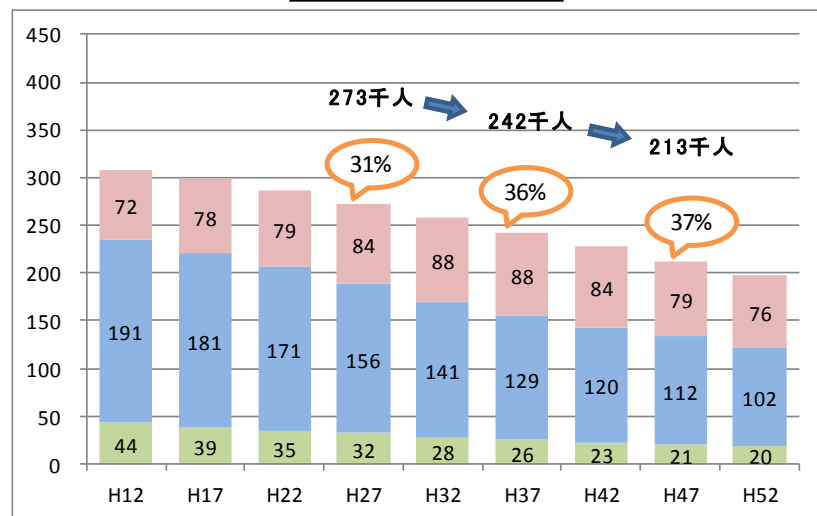
仙南医療圏



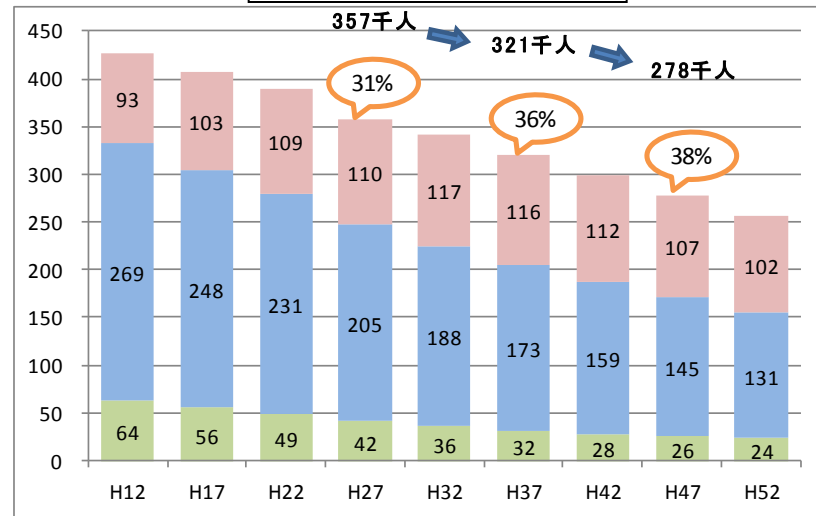
仙台医療圏



大崎・栗原医療圏



石巻・登米・気仙沼医療圏



1-3 医療機関の状況 ～施設の状況①～

・平成24年10月時点の施設数、許可病床数、人口10万人対病床数は以下のとおり。

施設数 (H24. 10. 1現在)

二次医療圏	病院数			一般診療所数		歯科診療所数
		うち精神科病院	うち一般病院		うち有床診療所	
仙南	13	2	11	109	14	71
仙台	82	16	66	1,135	102	731
大崎・栗原	26	4	22	164	21	110
石巻・登米・気仙沼	21	5	16	208	24	132
合計	142	27	115	1,616	161	1,044

(注)精神科病院は、精神病床のみを持つ病院数。

許可病床数 (H24. 10. 1現在)

二次医療圏	病院					有床診療所
		うち精神	うち結核・感染症	うち一般	うち療養	
仙南	1,974	653	8	925	388	181
仙台	16,770	3,887	10	11,330	1,543	1,324
大崎・栗原	3,162	692	64	1,628	778	289
石巻・登米・気仙沼	3,594	1,051	8	2,179	356	343
合計	25,500	6,283	90	16,062	3,065	2,137

(注)平成18年度以前に届出のあった診療所の病床数を含む。

人口10万対病床数(H24. 10. 1現在)

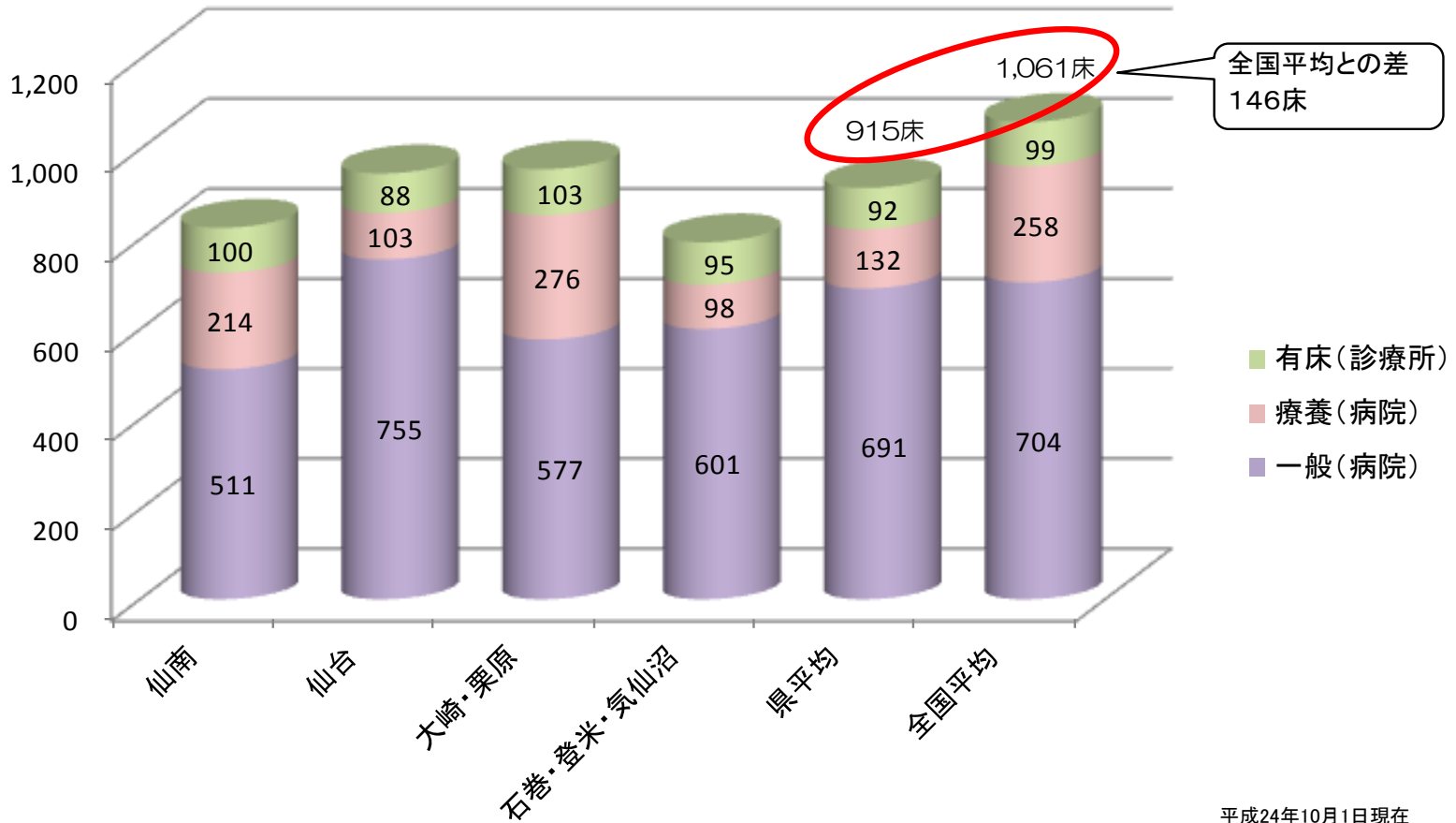
二次医療圏	病院					有床診療所	【参考】一般病床(病院) +療養病床(病院) +有床診療所
		うち精神	うち結核・感染症	うち一般	うち療養		
仙南	1,091.1	360.9	4.4	511.3	214.5	100.0	825.8
仙台	1,118.1	259.2	0.7	755.4	102.9	88.3	946.5
大崎・栗原	1,121.5	245.4	22.7	577.4	275.9	102.5	955.9
石巻・登米・気仙沼	991.0	289.8	2.2	600.8	98.2	94.6	793.6
合計	1,096.6	270.2	3.9	690.7	131.8	91.9	914.4
【参考】全国平均	1,237.7	268.4	7.1	704.4	257.9	98.5	1,060.8

(注)算出に用いた人口は、宮城県市町村別推計人口(平成24年10月1日現在)及び総務省人口推計(同)より。

1-4 医療機関の状況 ～施設の状況②～

・人口10万人対病床数について、一般病床は、全県平均で見ると全国平均をやや下回っている程度だが、療養病床は、全国平均のほぼ半分。また、有床診療所の病床数は、やや全国平均を下回っている。

・医療圏別にみると、①一般病床は、仙台医療圏は全国平均を上回っているが、その他の医療圏は全国平均の8～9割、②療養病床は、大崎・栗原医療圏が全国平均をやや上回っているが、その他は全国平均を下回り、特に仙台と石巻・登米・気仙沼医療圏は、全国平均の半分以下、③有床診療所の病床数は、全国平均の90～104%の範囲。



平成24年10月1日現在

1-5 医療従事者の状況①

- ・医療圏別に見ると、仙台医療圏に医療従事者が集中(全体の7~8割)。
- ・人口10万対医療従事者数について、県全体では、保健師・助産師・准看護師・歯科技工士が全国平均を上回っているが、その他の医師・歯科医師・薬剤師・看護師等の職種は、全国平均を下回っている。
- ・医療圏別に見ると、保健師と准看護師を除き、仙台医療圏における従事割合が高い。

医療従事者数 (H24. 10. 1現在)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
仙南	260	103	272	93	41	894	636	76	45	28	30	8
仙台	4,135	1,404	3,660	523	574	12,308	3,598	1,093	507	434	302	97
大崎・栗原	444	154	418	166	40	1,690	1,202	117	75	62	31	8
石巻・登米・気仙沼	519	184	486	191	51	2,321	1,315	172	129	89	61	17
宮城県	5,358	1,845	4,836	973	706	17,213	6,751	1,458	756	613	424	130
全国	303,268	102,551	280,052	47,279	31,835	1,015,744	357,777	103,180	35,413	47,541.2	30,795	9,663.1

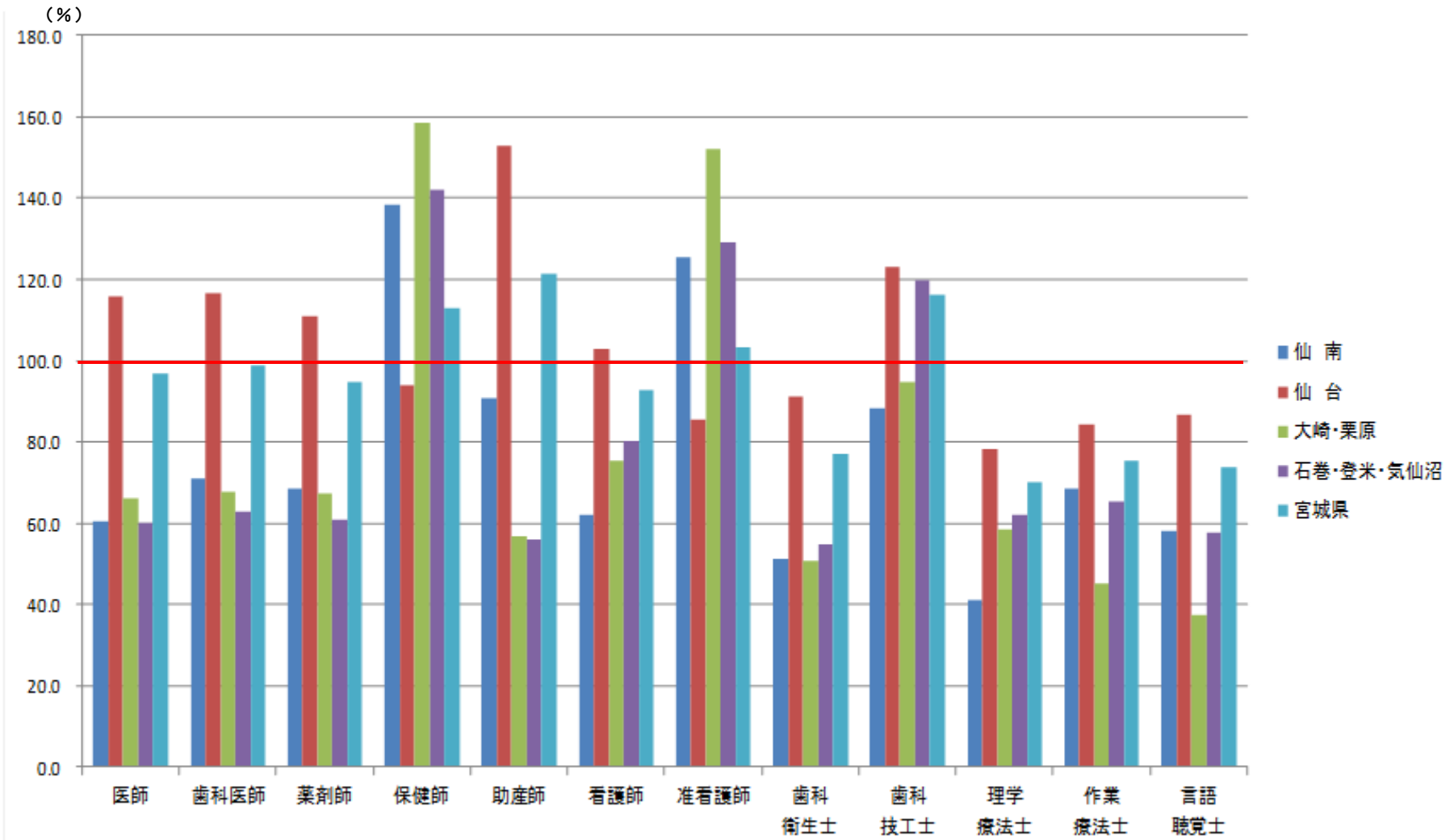
※歯科衛生士、歯科技工士、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士についてはH22.12.31現在

人口10万対医療従事者数 (H24. 10. 1現在)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
仙南	143.7	56.9	150.3	51.4	22.7	494.2	351.6	41.4	24.5	15.2	16.4	4.4
仙台	275.7	93.6	244.0	34.9	38.3	820.6	239.9	73.4	34.0	29.1	20.3	6.5
大崎・栗原	157.5	54.6	148.3	58.9	14.2	599.4	426.3	40.9	26.2	21.7	10.8	2.8
石巻・登米・気仙沼	143.1	50.7	134.0	52.7	14.1	640.0	362.6	44.3	33.2	23.0	15.7	4.3
宮城県	230.4	79.3	208.0	41.8	30.4	740.2	290.3	62.1	32.2	26.1	18.1	5.5
全国	237.8	80.4	219.6	37.1	25.0	796.6	280.6	80.6	27.7	37.1	24.0	7.5

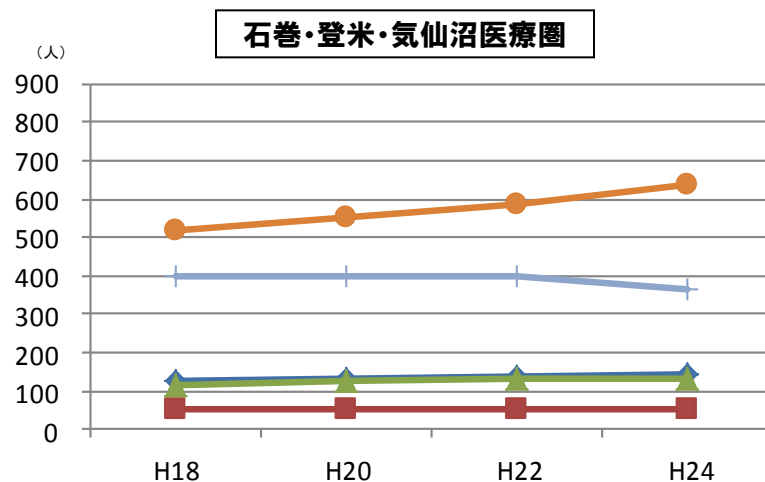
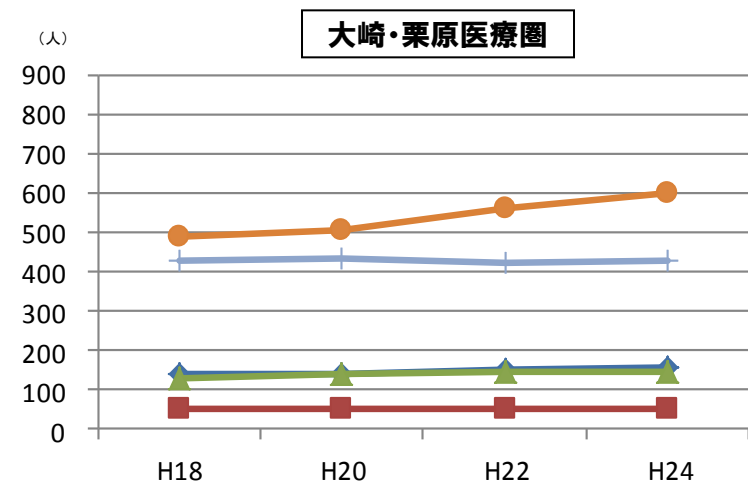
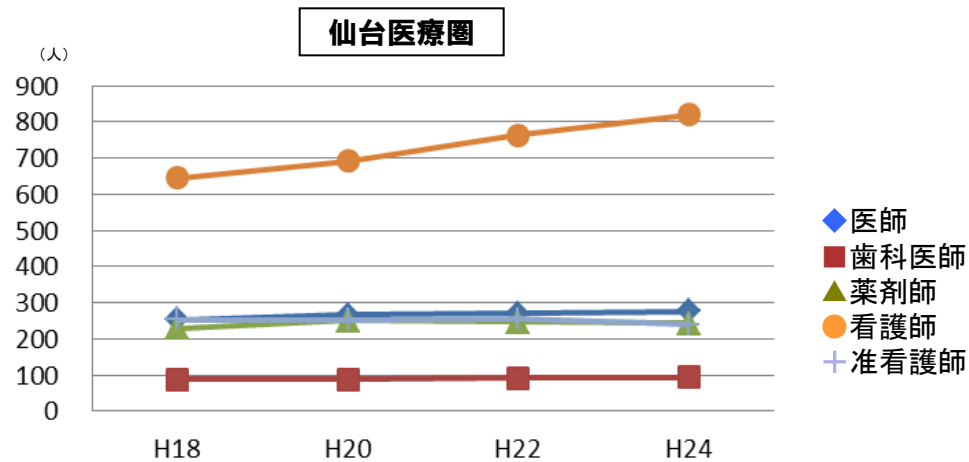
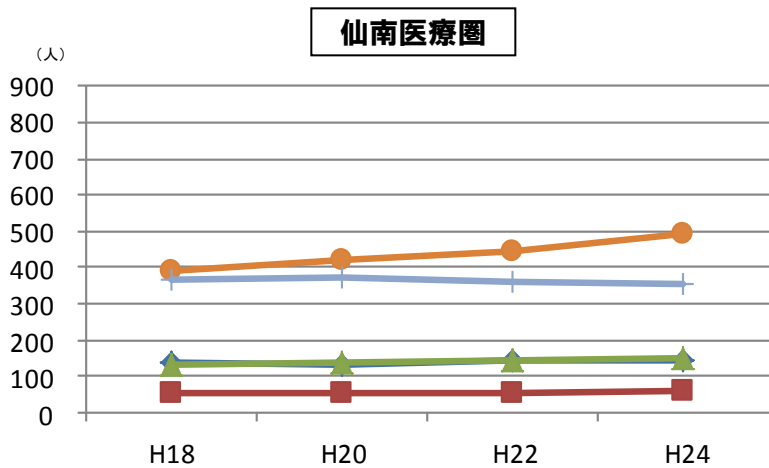
※歯科衛生士、歯科技工士、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士についてはH22.12.31現在

1-6 医療従事者の状況② ～人口10万対医療従事者数の全国比較～



(注) 全国平均を100%とした場合の比率

1-7 医療従事者の状況③ ～主な医療従事者の推移～

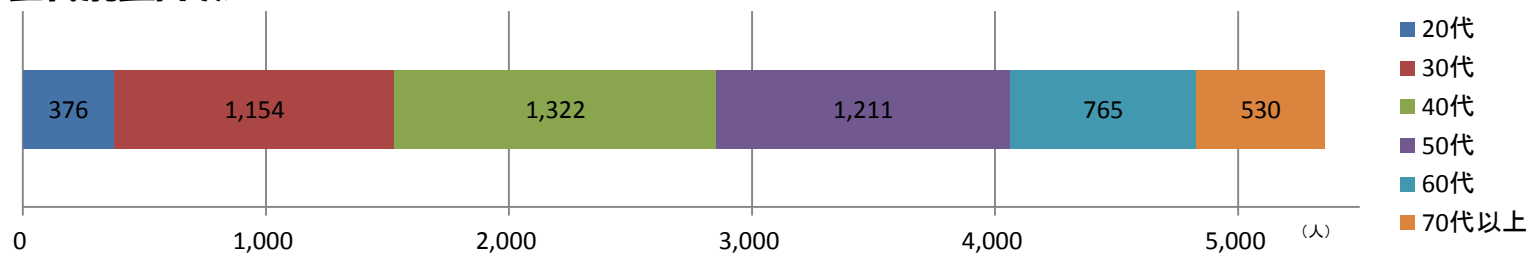


医師・歯科医師・薬剤師・看護職の人口10万人対従事者数の推移をみると、全体的には微増傾向にあるが、H24年時点においては（仙台医療圏を除き）全国平均を大きく下回っている。

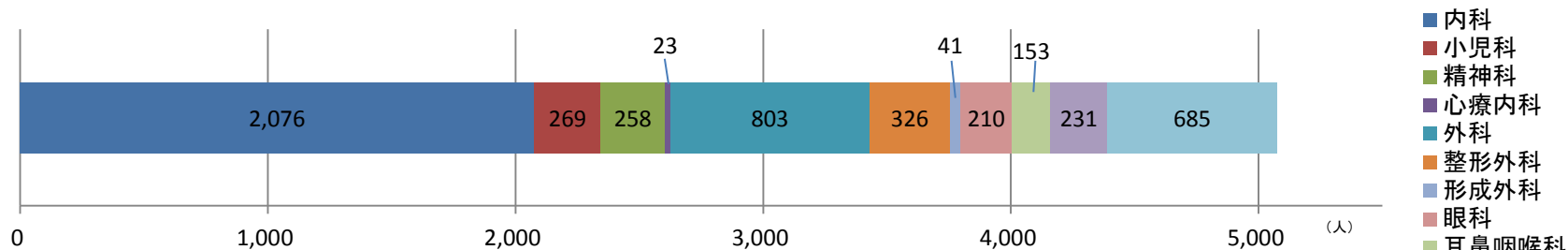
1-8 医療従事者の状況④ ～医師～

- ・世代間のバランスは取れているが、70代以上の医師が1割占めている。
- ・医療圏別にみると、仙台医療圏に8割が集中している。

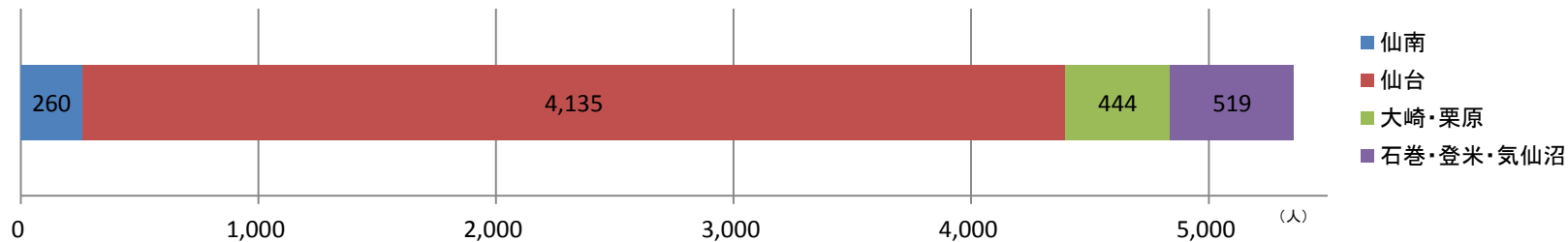
世代別医師数



主たる診療科別医師数



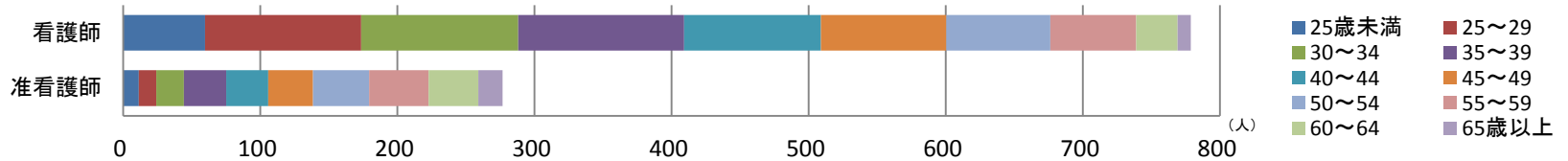
医療圏別医師数



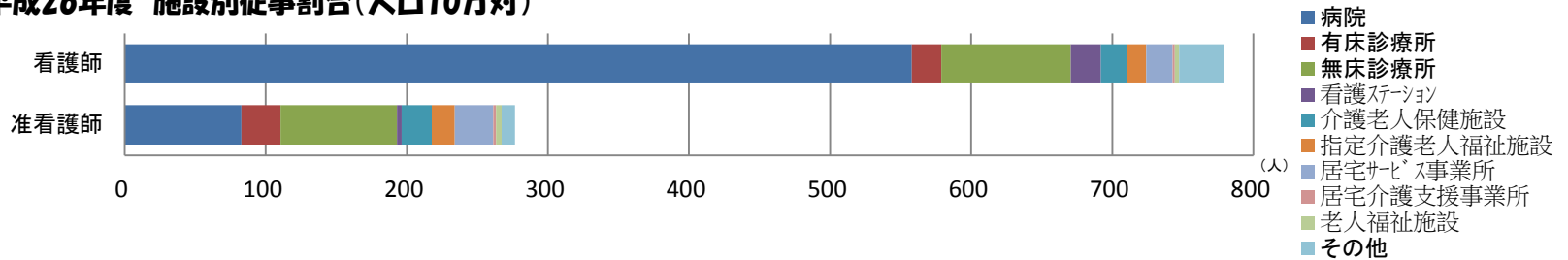
1-9 医療従事者の状況⑤ ～看護師・准看護師～

- ・対人口、対病床数で見ると、仙南医療圏の従事割合が低い。
- ・看護師、准看護師の従事割合については、仙台医療圏の看護師の従事割合がやや高い。

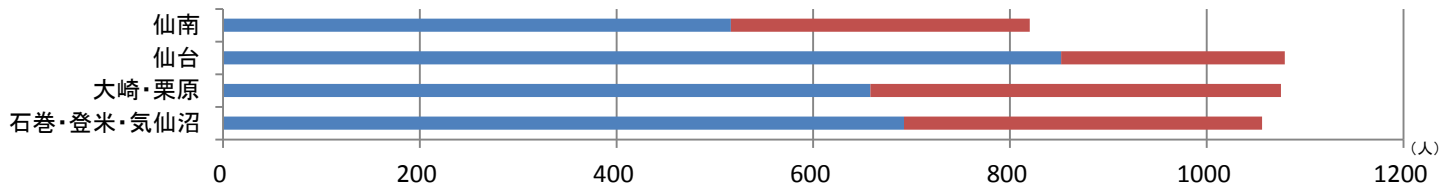
平成26年度 世代別従事割合(人口10万対)



平成26年度 施設別従事割合(人口10万対)

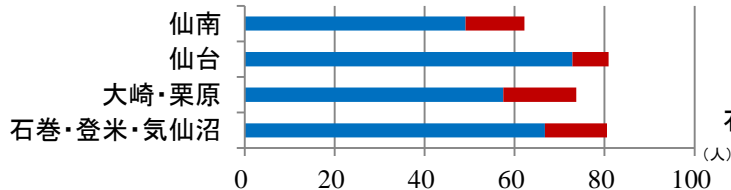


平成26年度 医療圏別従事者数(人口10万対)

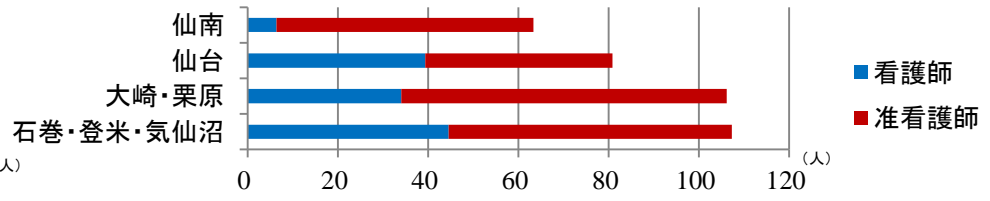


平成26年度 病院・有床診療所における医療圏別従事者数(一般・療養病床100床当たり)

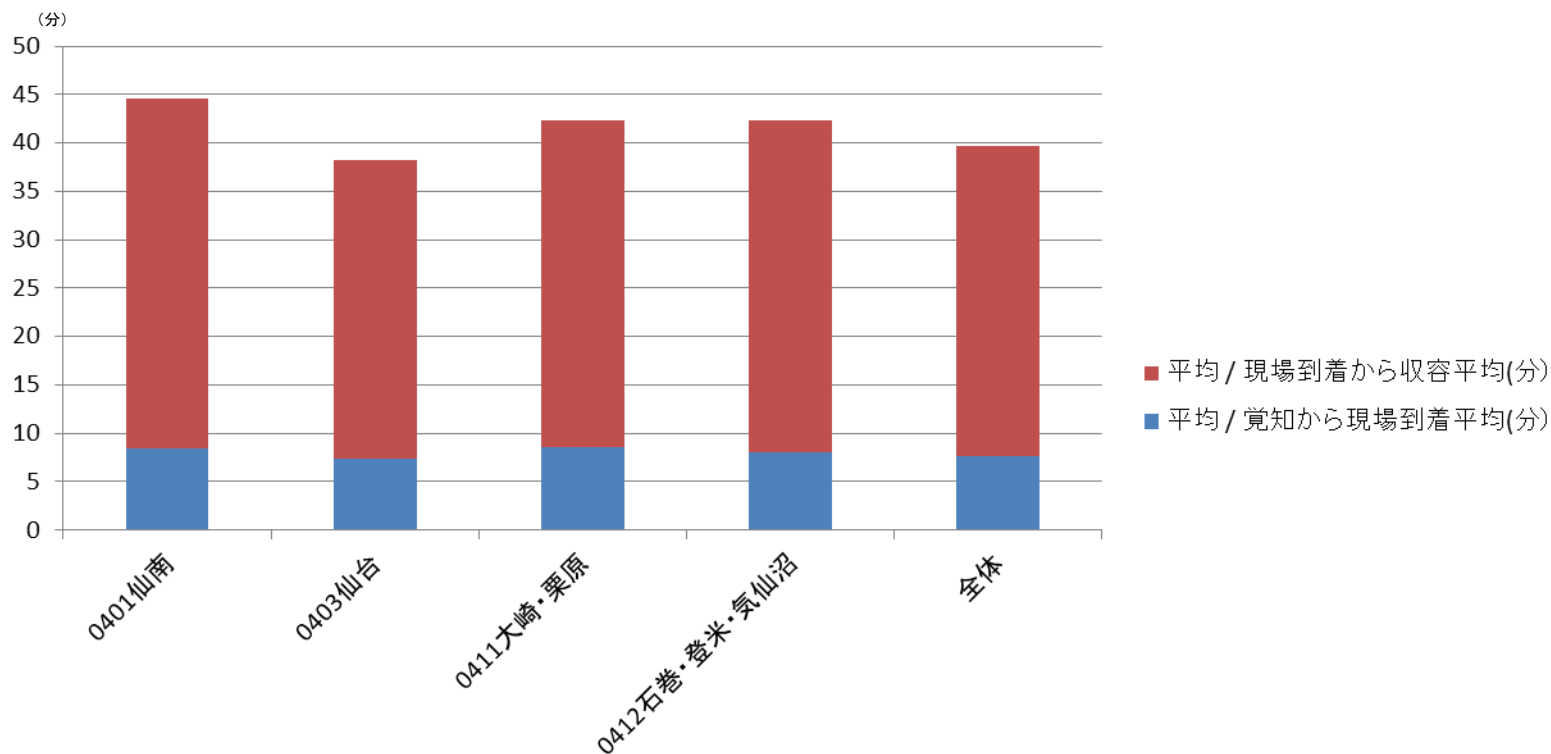
病院



有床診療所



1-10 救急搬送の状況



(単位:人、分)

	合計 / 覚知から現場到着数	平均 / 覚知から現場到着平均	合計 / 現場到着から収容数	平均 / 現場到着から収容平均	合計 / 覚知から収容数	平均 / 覚知から収容平均
仙南	7,262	8.4	7,262	36.2	7,262	45.0
仙台	55,279	7.4	55,279	30.8	55,279	38.4
大崎・栗原	11,853	8.6	11,853	33.8	11,853	43.0
石巻・登米・気仙沼	13,688	8.0	13,688	34.4	13,688	42.8
全体	176,164	7.7	176,164	32.0	176,164	40.0

(資料)平成24年度消防庁・救急搬送人員データベースより、宮城県が作成。

覚知から収容までの平均で、最も時間の少ない仙台医療圏と最も時間を要する仙南医療圏とで6分強の開きがあり、地域差が認められる。

1-1-1 医療機器等の状況

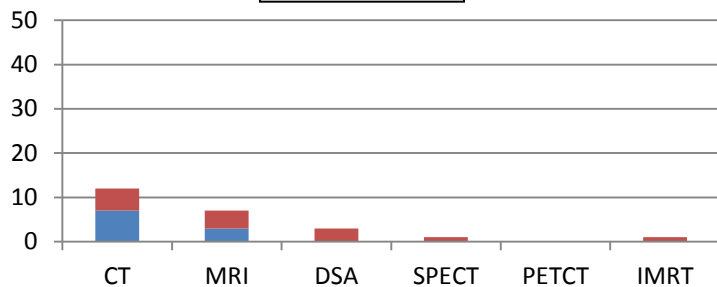
- ・CT・MRIは、仙台医療圏が他医療圏を4～7倍程度上回っている。なお、ベッド数当たりで見れば、他医療圏の方が多い状態。
- ・一方、DSA・SPECT等は、ほぼ仙台医療圏に集中している状況。

二次医療圏	仙南		仙台		大崎・栗原		石巻・登米・気仙沼	
	200床未満	200床以上	200床未満	200床以上	200床未満	200床以上	200床未満	200床以上
CT	7	5	36	41	16	5	12	8
MRI	3	4	21	30	6	4	4	3
DSA	0	3	8	32	2	5	1	5
SPECT	0	1	5	16	2	1	0	2
PETCT	0	0	0	7	0	1	0	0
IMRT	0	1	0	9	0	1	0	0

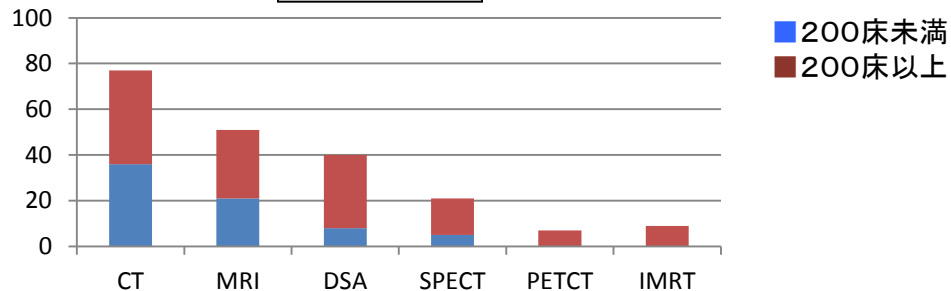
(出典) H26年度病床機能報告結果から

CT:コンピュータ断層撮影装置 MRI:磁気共鳴画像撮影装置 DSA:血管造影検査装置
SPECT:単一光子放射断層撮影CT PETCT:陽電子放出断層撮影CT IMRT:強度変調放射線治療器

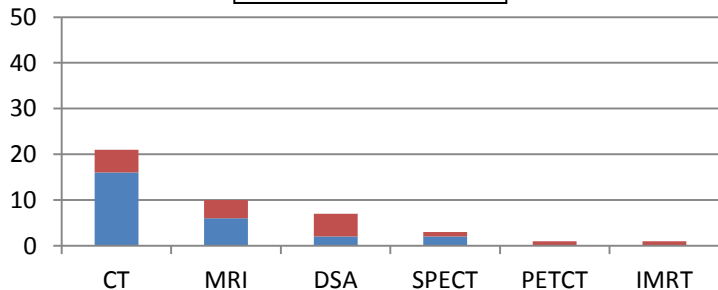
仙南医療圏



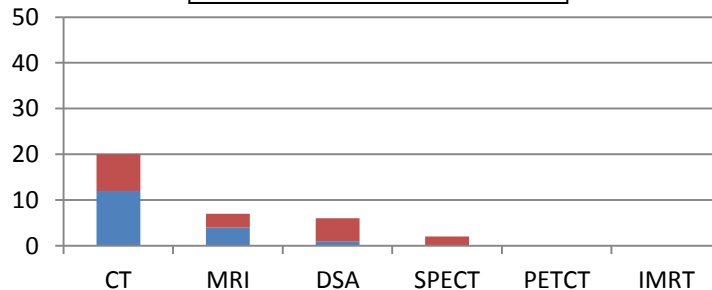
仙台医療圏



大崎・栗原医療圏



石巻・登米・気仙沼医療圏



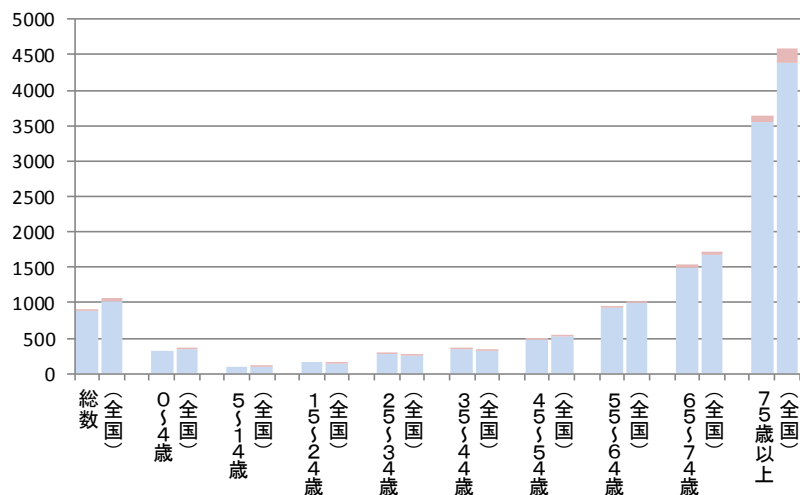
2 （主に入院患者の）医療需要の現状

2-1 患者の状況①

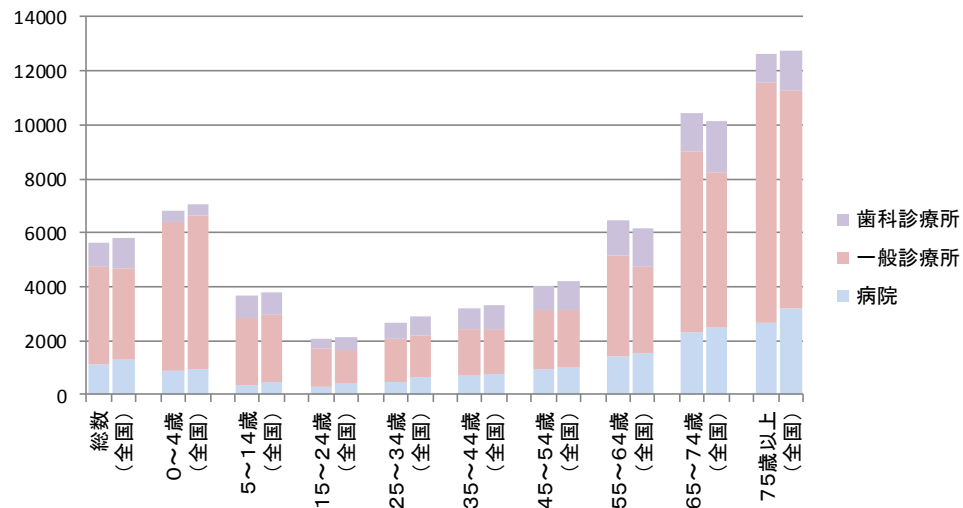
- ・平成23年の患者調査によれば、宮城県は全国と同様に、0～4歳はやや受療率が高いものの、傾向としては年齢を重ねる毎に受療率が高くなっている。
- ・入院受療率について、全国と比較すると、全ての年齢階級で全国を下回っている。
- ・外来受療率について、医科の総数(病院と一般診療所への計)は、全国をやや上回っている。これを、年齢階級別にみると、55歳以上の階級で、全国を大きく上回っている状況がみられる。

年齢階級別 人口10万対受療率
(H23年10月の調査日時点)

【入院】



【外来】



(出典)平成23年患者調査

(注)旧石巻・旧気仙沼医療圏に所在する医療施設で受療した患者数は含まれていない。

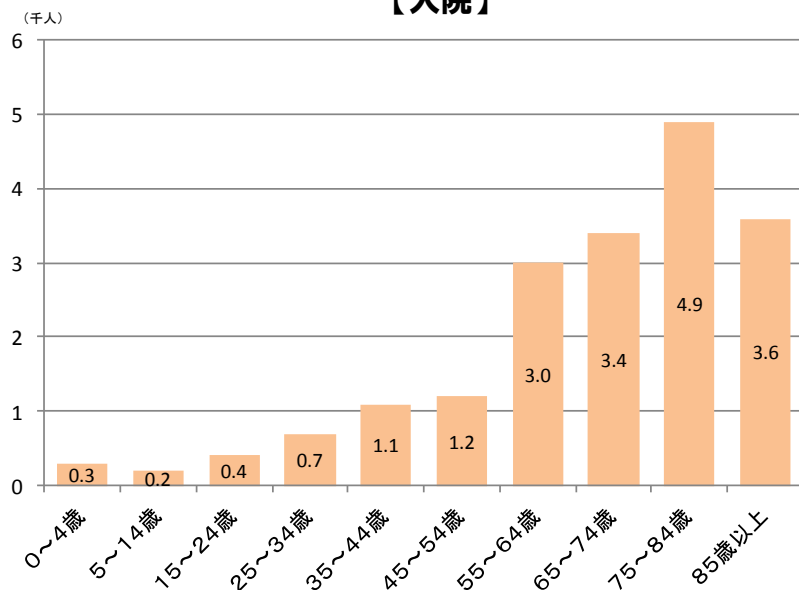
入院受療率は全年齢階級で全国を下回っているが、医科の外来受療率は35歳以上は全国を上回っている。

2-2 患者の状況②

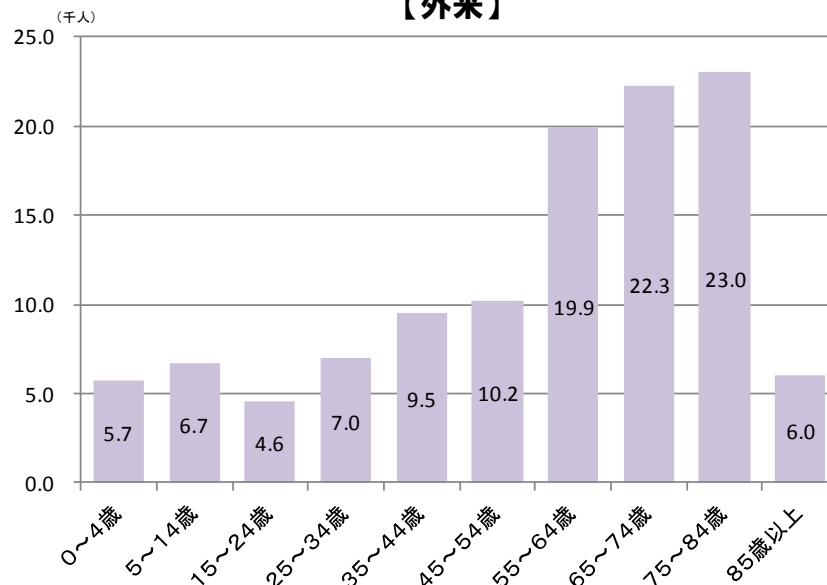
- ・宮城県の医療施設における推計入院患者数は18.8千人で、うち65歳以上が11.9千人と全体の63%を占めている。
- ・外来患者数は115.4千人で、うち65歳以上が51.3千人と全体の44%を占めている。

年齢階級別 推計患者数（H23年10月の調査日時点）

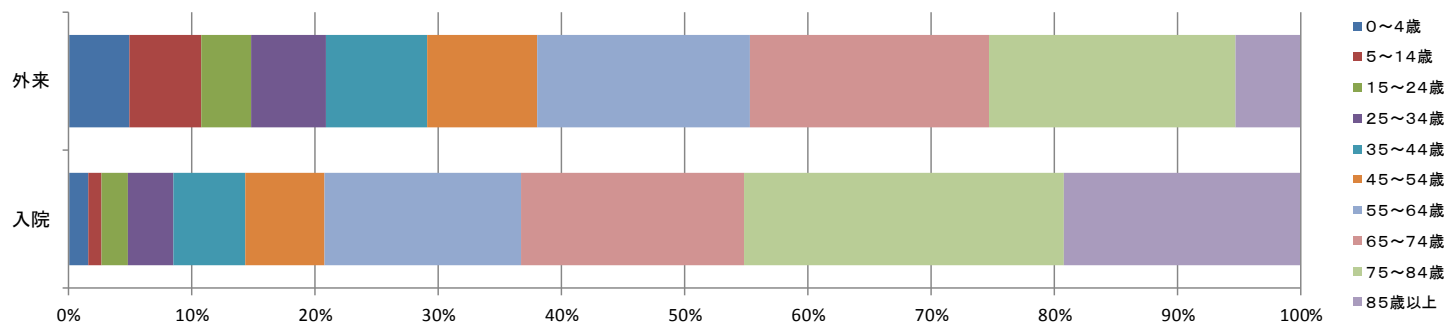
【入院】



【外来】



年齢階級別 推計患者数比率（H23年10月の調査日時点）



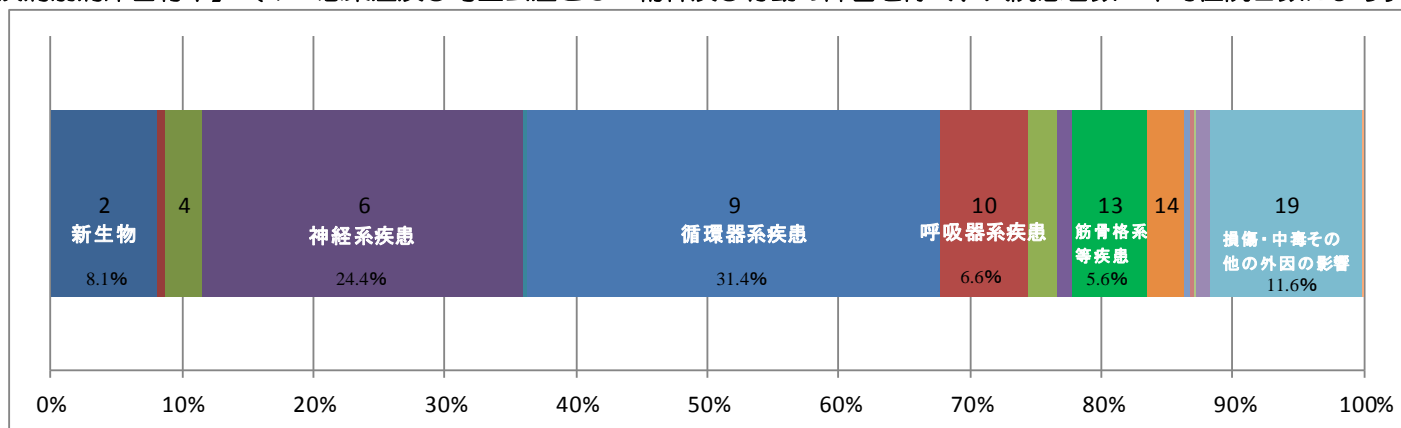
2-3 患者の状況③ ～ ICD-10（国際疾病分類第10版）による分類～

宮城県・医療圏別の推計入院患者数・退院患者の平均在院日数（平成23年度）

全国調査

	全県		仙南		仙台		大崎		石巻・登米・気仙沼		退院患者の 平均在院日数 (単位：日)
	入院	構成比	入院	構成比	入院	構成比	入院	構成比	入院	構成比	
総数（人）	24,296	100%	2,252	100%	13,654	100%	3,594	100%	4,789	100%	32.8
1 感染症及び寄生虫症	403	2%	38	2%	226	2%	60	2%	80	2%	20.5
2 新生物	2,716	11%	245	11%	1,539	11%	395	11%	535	11%	19.5
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	120	0%	11	0%	68	0%	18	1%	24	1%	30.0
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	653	3%	62	3%	359	3%	100	3%	132	3%	29.4
5 精神及び行動の障害	5,130	21%	444	20%	3,017	22%	707	20%	961	20%	296.1
6 神経系の疾患	2,091	9%	196	9%	1,168	9%	313	9%	414	9%	76.2
7 眼及び付属器の疾患	216	1%	20	1%	121	1%	32	1%	43	1%	5.3
8 耳及び乳様突起の疾患	50	0%	4	0%	29	0%	7	0%	9	0%	8.2
9 循環器系の疾患	4,530	19%	449	20%	2,423	18%	715	20%	942	20%	45.3
10 呼吸器系の疾患	1,628	7%	161	7%	880	6%	254	7%	333	7%	26.5
11 消化器系の疾患	1,172	5%	108	5%	660	5%	173	5%	230	5%	12.9
12 皮膚及び皮下組織の疾患	283	1%	27	1%	156	1%	43	1%	57	1%	26.8
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,142	5%	107	5%	633	5%	173	5%	230	5%	32.2
14 腎尿路生殖器系の疾患	857	4%	81	4%	472	3%	130	4%	173	4%	22.1
15 妊娠、分娩及び産じょく	331	1%	23	1%	230	2%	34	1%	45	1%	8.0
16 周産期に発生した病態	116	0%	8	0%	78	1%	13	0%	17	0%	11.4
17 先天奇形、変形及び染色体異常	105	0%	8	0%	69	1%	12	0%	16	0%	16.5
18 症状、徴候及び異常臨床所見	338	1%	32	1%	186	1%	52	1%	68	1%	19.7
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,265	9%	217	10%	1,247	9%	345	10%	456	10%	33.4
20 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	151	1%	12	1%	94	1%	19	1%	25	1%	7.4

【疾病別病床占有率】（1：感染症及び寄生虫症と5：精神及び行動の障害を除く、入院患者数×平均在院日数により算出）



2-4 患者の状況④ ～ICD-10による分類～

傷病分類別・年齢階級別医科診療医療費（平成24年度/2012年度）

65歳以上で全体の65%、75歳以上だけでも43%の医療費を占める

傷病分類	例	入院患者・年齢階級別						
		総数	0～14歳	15～44歳	45～64歳	65歳以上	70歳以上	75歳以上
総数		147 566	6 410	14 252	31 295	95 609	81 229	63 844
I 感染症及び寄生虫症	結核	2 606	247	274	488	1 596	1 384	1 120
II 新生物	がん	25 621	392	1 997	7 450	15 783	12 105	8 149
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		1 297	115	183	227	771	669	543
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病	4 770	143	286	906	3 435	3 003	2 454
V 精神及び行動の障害	統合失調症	13 754	97	2 099	4 995	6 562	4 983	3 464
VI 神経系の疾患		8 412	385	1 128	1 603	5 297	4 667	3 832
VII 眼及び付属器の疾患		2 654	54	131	571	1 898	1 567	1 112
VIII 耳及び乳様突起の疾患		471	83	79	121	187	138	90
IX 循環器系の疾患	心筋梗塞	32 744	119	1 031	6 007	25 587	22 234	17 935
X 呼吸器系の疾患	肺炎	9 052	1 010	614	782	6 647	6 159	5 423
XI 消化器系の疾患		9 021	280	1 035	2 052	5 655	4 813	3 791
XII 皮膚及び皮下組織の疾患		1 058	70	128	203	657	579	485
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患		9 266	273	646	1 995	6 352	5 410	4 077
XIV 腎尿路生殖器系の疾患		5 751	165	537	1 096	3 953	3 406	2 694
XV 妊娠、分娩及び産じょく		2 043	3	2 033	7	0	0	0
XVI 周産期に発生した病態		1 670	1 611	55	4	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常		1 310	939	193	103	75	52	33
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		1 728	105	110	235	1 277	1 159	998
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折	14 339	317	1 695	2 452	9 875	8 900	7 642

・がん等の新生物、心筋梗塞等の循環器系疾患、骨折等の損傷等の影響によるものだけで、全体の49%を占める

・脳卒中、肺炎等も、医療費に占める高齢者の比率が高いことが分かる

2-5 MDC区分別医療需要（2013年度）

(単位:床/日)

二次医療圏名	医療機能	MDC01	MDC02	MDC03	MDC04	MDC05	MDC06	MDC07	MDC08	MDC09
仙南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	急性期	32.1	0.0	0.0	38.9	26.9	44.8	0.0	0.0	0.0
	回復期	20.3	0.0	0.0	39.3	19.0	27.2	0.0	0.0	0.0
	小計	52.4	0.0	0.0	78.2	45.8	88.8	0.0	0.0	0.0
仙台	高度急性期	83.4	35.8	37.0	129.1	159.8	225.3	47.1	14.7	12.7
	急性期	250.2	29.8	83.0	398.8	285.5	528.2	250.2	35.8	33.3
	回復期	199.9	53.5	59.7	297.9	177.7	388.1	206.5	34.3	33.0
	小計	533.5	119.1	179.7	825.8	623.0	1,141.6	503.9	84.8	79.0
大崎・栗原	高度急性期	14.2	0.0	0.0	15.9	19.6	29.8	0.0	0.0	0.0
	急性期	44.8	0.0	0.0	77.5	44.9	65.3	14.2	0.0	0.0
	回復期	47.8	0.0	0.0	99.2	44.2	56.0	18.7	0.0	0.0
	小計	106.8	0.0	0.0	192.6	108.7	151.2	32.8	0.0	0.0
石巻・登米・気仙沼	高度急性期	12.0	0.0	0.0	16.8	18.8	32.0	0.0	0.0	0.0
	急性期	56.0	0.0	0.0	86.9	44.0	78.3	12.2	0.0	0.0
	回復期	55.0	0.0	0.0	88.7	37.8	64.5	18.4	0.0	0.0
	小計	123.0	0.0	0.0	192.4	100.7	174.8	30.5	0.0	0.0
宮城県計	高度急性期	109.5	35.8	37.0	161.8	198.2	303.9	47.1	14.7	12.7
	急性期	383.1	29.8	83.0	602.1	401.3	716.6	276.6	35.8	33.3
	回復期	323.0	53.5	59.7	525.1	278.7	535.8	243.6	34.3	33.0
	合計	815.7	119.1	179.7	1,289.1	878.2	1,556.4	567.3	84.8	79.0

【参考】

MDCコード	MDC(主要診断群)名称
01	神経系疾患
02	眼科系疾患
03	耳鼻咽喉科系疾患
04	呼吸器系疾患
05	循環器系疾患
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
07	筋骨格系疾患
08	皮膚・皮下組織の疾患
09	乳房の疾患
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
12	女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
14	新生児疾患、先天性奇形
15	小児疾患
16	外傷・熱傷・中毒
17	精神疾患
18	その他

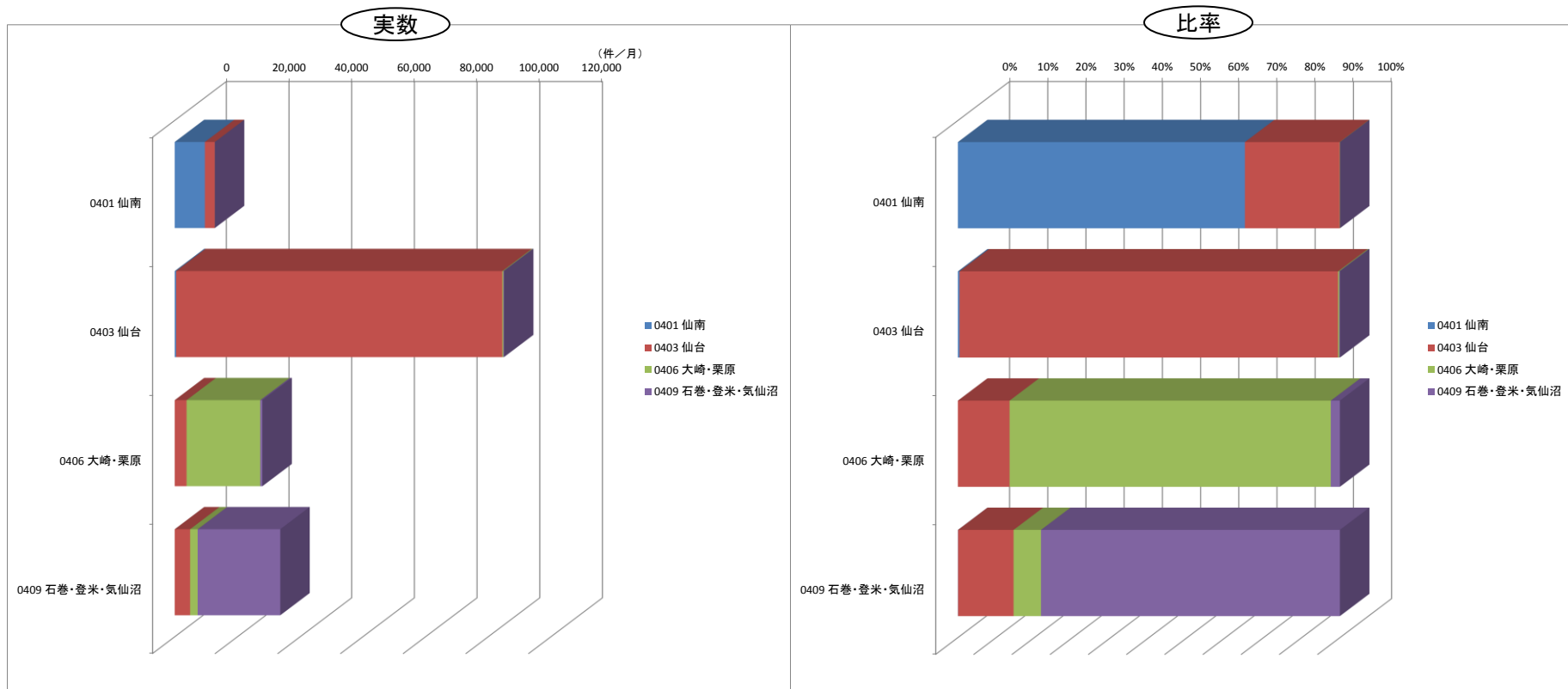
(注)表中の○は、急性期の入院需要のうち80%以上を仙台医療圏の医療機関が担っている傷病。また、○は、県全体の医療需要に対し、10%以上を占めている傷病を示す。

二次医療圏名	医療機能	MDC10	MDC11	MDC12	MDC13	MDC14	MDC15	MDC16	MDC17	MDC18	医療需要	必要病床数
仙南	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	22.3
	急性期	0.0	14.3	20.8	0.0	0.0	0.0	26.9	0.0	0.0	204.7	262.5
	回復期	0.0	15.3	0.0	0.0	0.0	0.0	23.7	0.0	0.0	144.9	161.0
	小計	0.0	29.6	20.8	0.0	0.0	0.0	50.6	0.0	0.0	366.3	445.7
仙台	高度急性期	24.8	74.2	48.9	66.8	66.6	13.0	47.6	0.0	38.9	1,125.6	1,500.9
	急性期	94.9	188.9	273.1	72.4	31.4	25.5	235.5	0.0	71.6	2,888.2	3,702.8
	回復期	102.9	154.2	92.6	42.7	15.4	0.0	210.1	0.0	45.4	2,113.9	2,348.8
	小計	222.5	417.3	414.5	181.9	113.4	38.6	493.3	0.0	155.9	6,127.7	7,552.4
大崎・栗原	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.5	106.0
	急性期	10.7	23.4	34.5	12.7	0.0	0.0	36.9	0.0	0.0	364.9	467.8
	回復期	14.8	21.3	0.0	10.1	0.0	0.0	40.5	0.0	0.0	352.6	391.8
	小計	25.5	44.7	34.5	22.9	0.0	0.0	77.4	0.0	0.0	797.1	965.7
石巻・登米・気仙沼	高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.6	106.2
	急性期	0.0	25.0	35.8	14.3	0.0	0.0	46.4	0.0	0.0	398.8	511.3
	回復期	13.8	24.9	0.0	11.4	0.0	0.0	48.4	0.0	0.0	362.9	403.2
	小計	13.8	49.9	35.8	25.7	0.0	0.0	94.8	0.0	0.0	841.4	1,020.7
宮城県計	高度急性期	24.8	74.2	48.9	66.8	66.6	13.0	47.6	0.0	38.9	1,301.5	1,735.4
	急性期	105.6	251.6	364.1	99.5	31.4	25.5	345.8	0.0	71.6	3,856.7	4,944.5
	回復期	131.4	215.8	92.6	64.2	15.4	0.0	322.7	0.0	45.4	2,974.3	3,304.8
	合計	261.8	541.6	505.6	230.5	113.4	38.6	716.2	0.0	155.9	8,132.5	9,984.6

(注)厚生労働省提供ツールに基づき作成。各医療圏における網掛け箇所は、実際は1~9の数字だが、個人情報保護の観点から便宜的に「0.0」となっている。そのため、「医療需要」「必要病床数」及び「宮城県計」の数字を見る場合、その点を考慮する必要がある。

2-6 入院診療体制別受療動向（2013年度）①

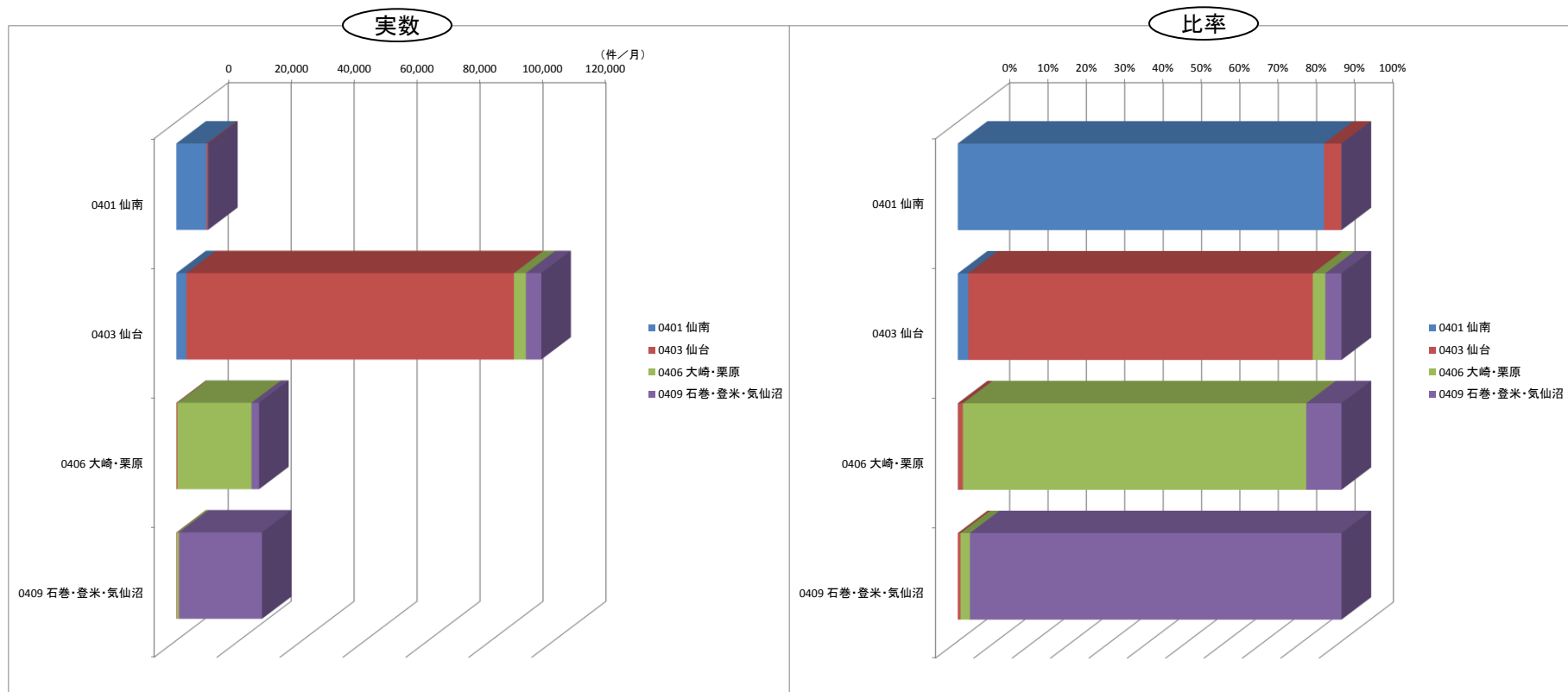
【一般入院基本料（7・10対1、全年齢、入院）】 ～流出～



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名				
負担者二次医療圏名	0401 仙南	0403 仙台	0406 大崎・栗	0409 石巻・登	総計
0401 仙南	9,617	3,174	11	11	12,802
0403 仙台	450	104,061	338	192	105,041
0406 大崎・栗原	11	3,785	23,520	669	27,974
0409 石巻・登米・気仙沼	11	4,899	2,416	26,352	33,678
総計	10,078	115,919	26,285	27,213	179,495

2-7 入院診療体制別受療動向（2013年度）②

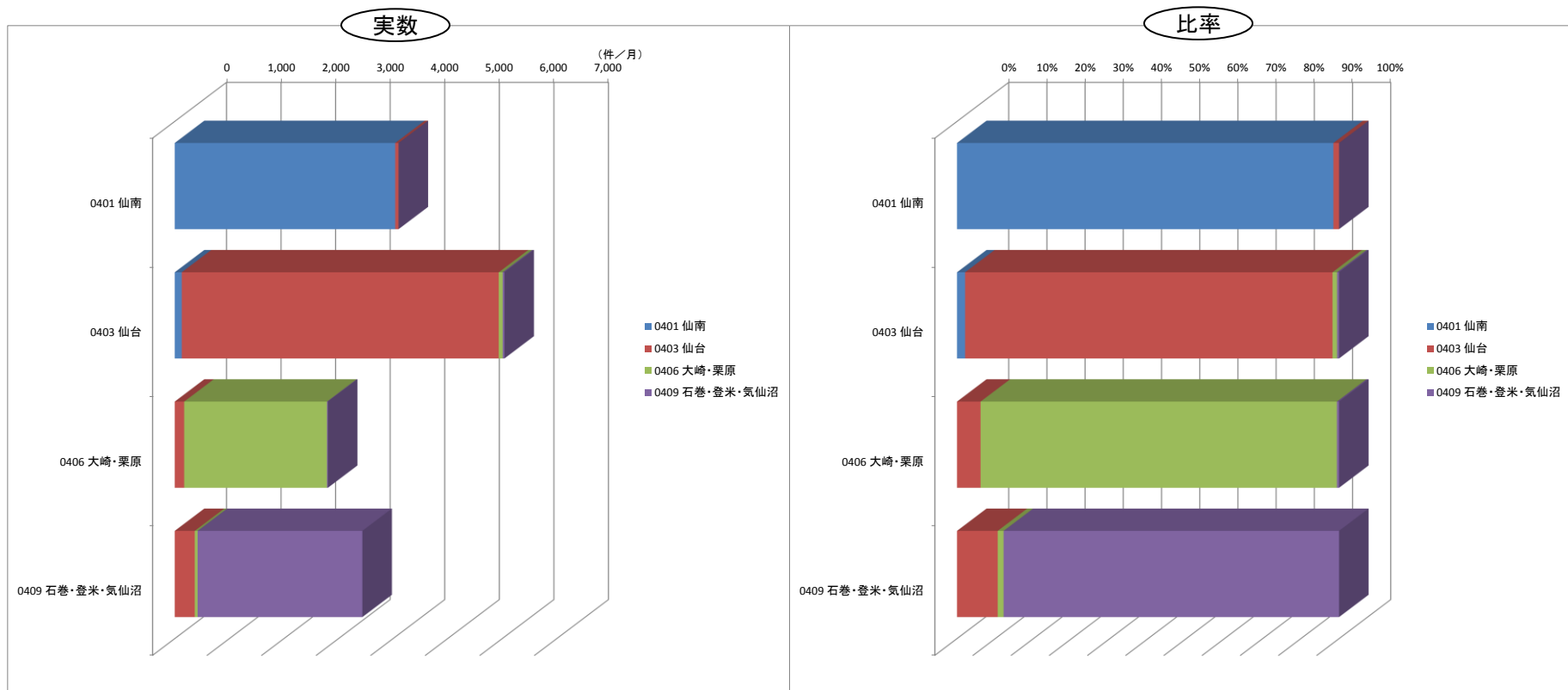
【一般入院基本料（7・10対1、全年齢、入院）】 ～流入～



合計 / 総件数 医療機関二次医療圏名	負担者二次医療圏名				総計
	0401 仙南	0403 仙台	0406 大崎・栗	0409 石巻・登	
0401 仙南	9,617	450		11	10,078
0403 仙台	3,174	104,061	3,785	4,899	115,919
0406 大崎・栗原	11	338	23,520	2,416	26,285
0409 石巻・登米・気仙沼		192	669	26,352	27,213
総計	12,802	105,041	27,974	33,678	179,495

2-8 入院診療体制別受療動向（2013年度）③

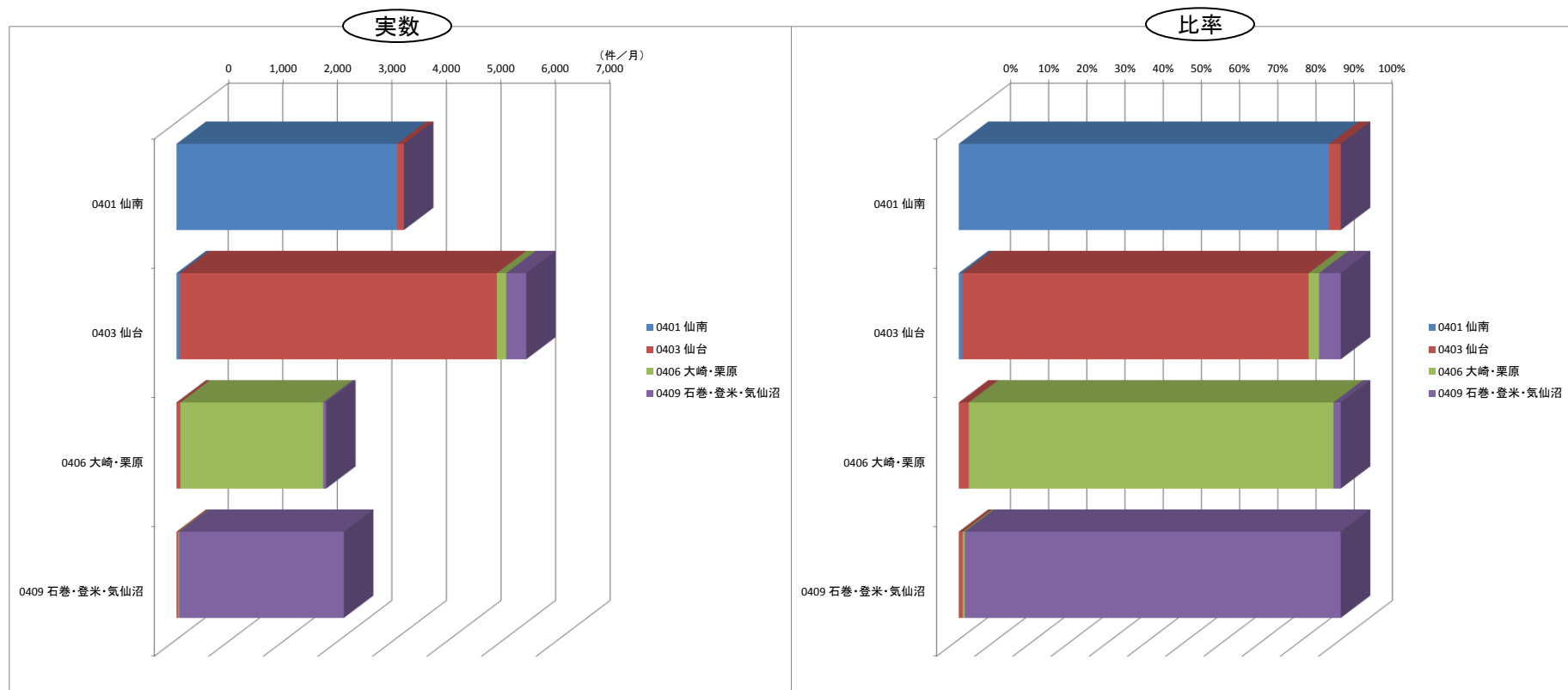
【一般入院基本料（13・15対1、全年齢、入院）】 ～流出～



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名				
負担者二次医療圏名	0401 仙南	0403 仙台	0406 大崎・栗原	0409 石巻・登米	総計
0401 仙南	4,040	61			4,101
0403 仙台	128	5,809	72	32	6,041
0406 大崎・栗原		173	2,617	16	2,806
0409 石巻・登米・気仙沼		366	53	3,019	3,438
総計	4,168	6,409	2,742	3,067	16,386

2-9 入院診療体制別受療動向（2013年度）④

【一般入院基本料（13・15対1、全年齢、入院）】 ～流入～



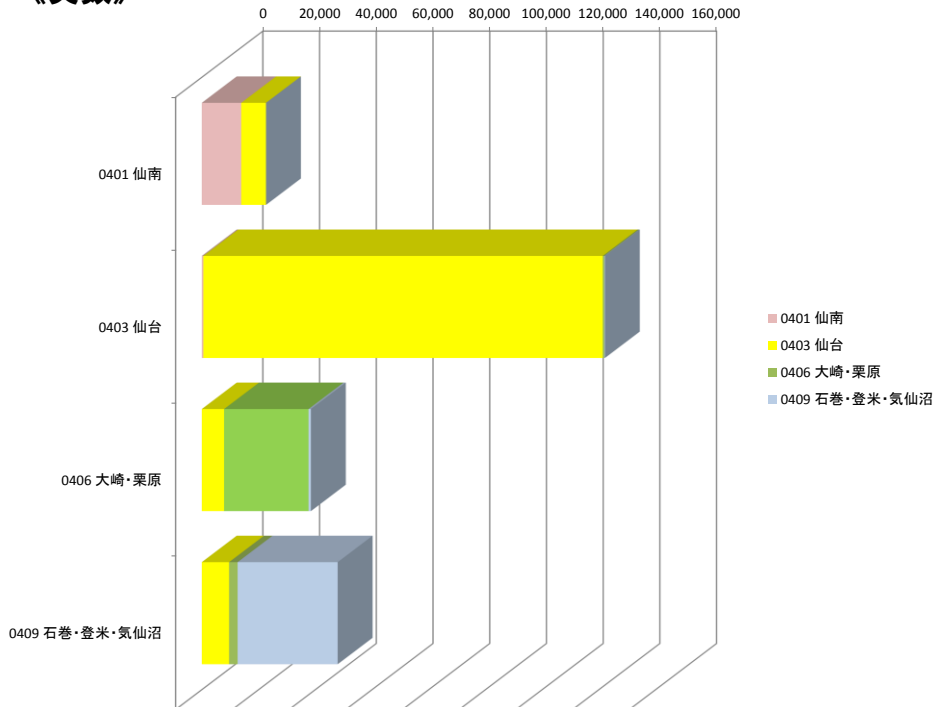
合計 / 総件数	負担者二次医療圏名				総計
医療機関二次医療圏名	0401 仙南	0403 仙台	0406 大崎・栗	0409 石巻・登	
0401 仙南	4,040	128	61	366	4,168
0403 仙台	61	5,809	72	53	6,409
0406 大崎・栗原	61	72	2,617	53	2,742
0409 石巻・登米・気仙沼	61	32	16	3,019	3,067
総計	4,101	6,041	2,806	3,438	16,386

2-10 主な疾病における患者の受療動向① ～がん（流出）～

・H25年度のがん患者の流出状況を見ると、入院患者においては、各医療圏の20%以上が仙台医療圏に流出している。
 ・外来患者も同様、10%以上の仙台医療圏への流出がみられる。

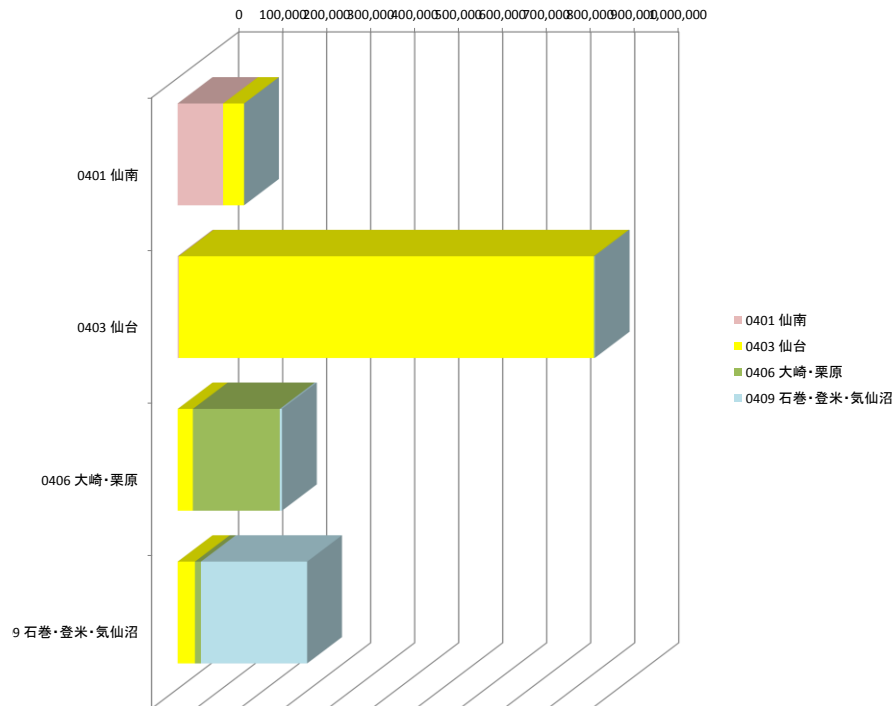
入院

《実数》



外来

《実数》



《流出率》

(単位: %)

		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	61.4%	38.6%	0.1%		100.0%
	仙台	0.4%	99.1%	0.4%	0.1%	100.0%
	大崎・栗原		20.4%	77.4%	2.2%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼		20.1%	6.3%	73.6%	100.0%

《流出率》

(単位: %)

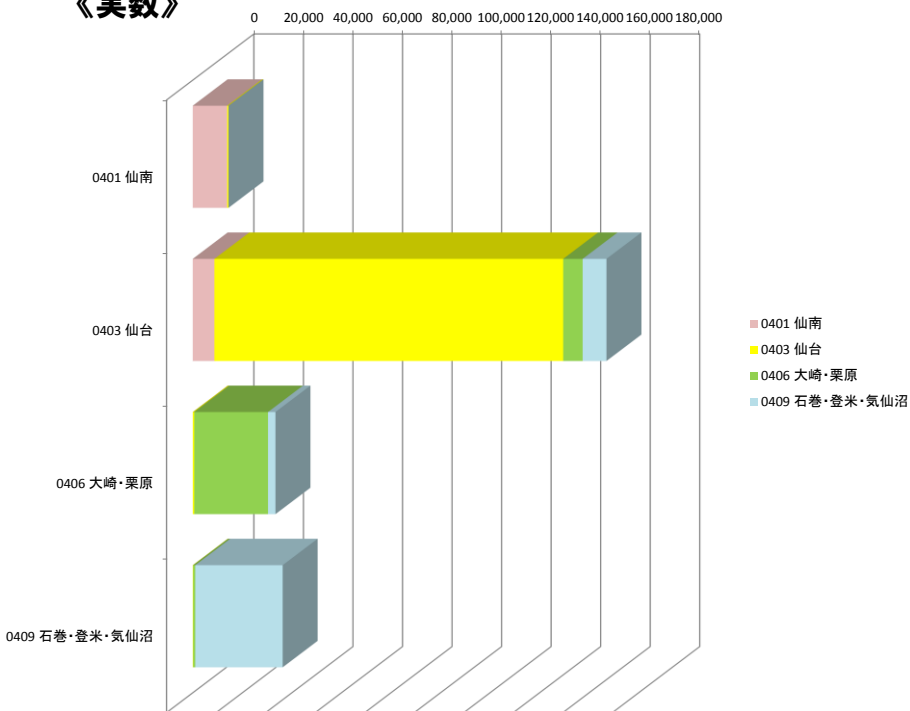
		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	68.4%	31.6%	0.0%		100.0%
	仙台	0.3%	99.5%	0.1%	0.1%	100.0%
	大崎・栗原		14.5%	83.4%	2.1%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼	0.0%	13.3%	4.6%	82.0%	100.0%

2-1-1 主な疾病における患者の受療動向② ～がん（流入）～

・H25年度のがん患者の他医療圏からの流入状況をみると、入院患者・外来患者とも仙台医療圏への流入が見られるが、20%未満の流入に止まっている。

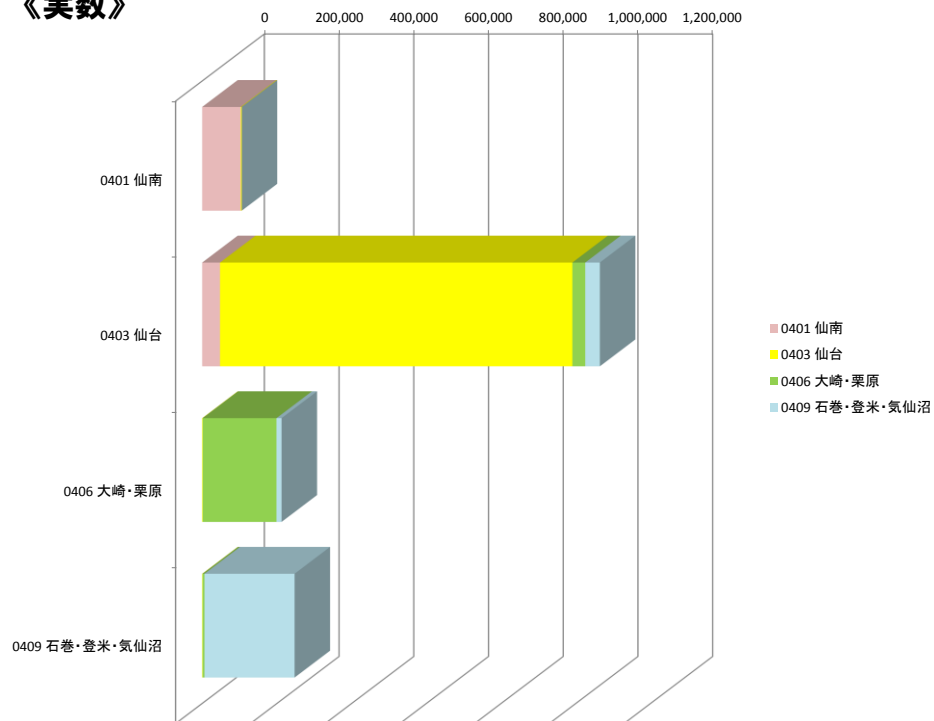
入院

《実数》



外来

《実数》



《流入率》

(単位: %)

医療機関	患者居住地	患者居住地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
所在地	仙南	96.2%	3.8%			100.0%
	仙台	5.2%	84.3%	4.7%	5.8%	100.0%
	大崎・栗原	0.0%	1.8%	89.2%	9.0%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼		0.5%	2.3%	97.2%	100.0%

《流入率》

(単位: %)

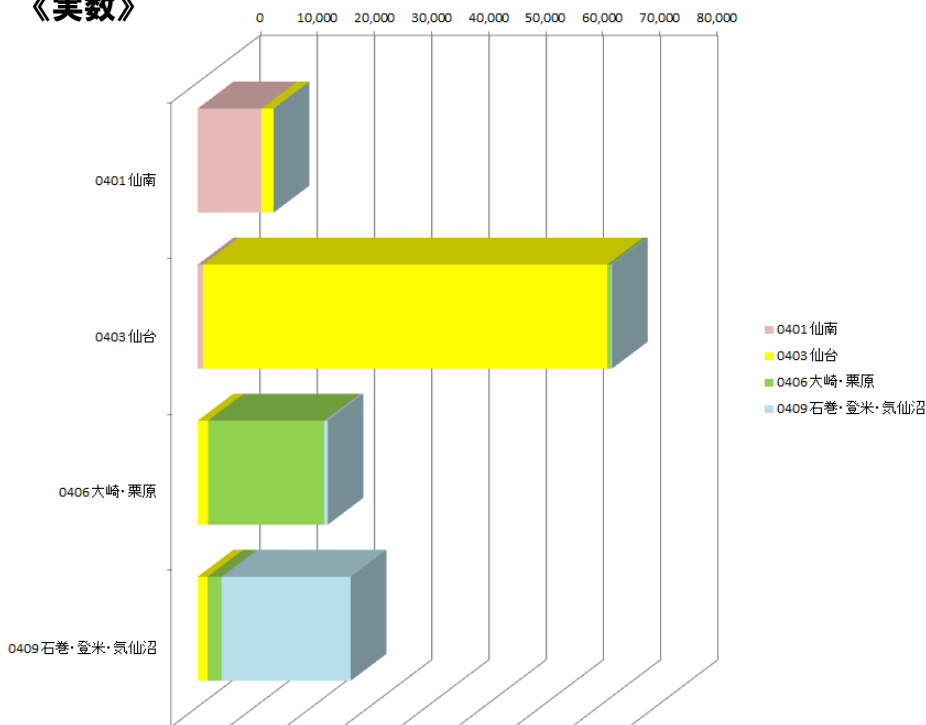
医療機関	患者居住地	患者居住地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
所在地	仙南	97.6%	2.3%		0.1%	100.0%
	仙台	4.5%	88.6%	3.2%	3.7%	100.0%
	大崎・栗原	0.0%	0.6%	93.0%	6.4%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼		0.4%	2.0%	97.6%	100.0%

2-12 主な疾病における患者の受療動向③ ～脳卒中（流出）～

・脳卒中は、全ての医療圏において、入院患者・外来患者とも20%を超えた流出はみられない。

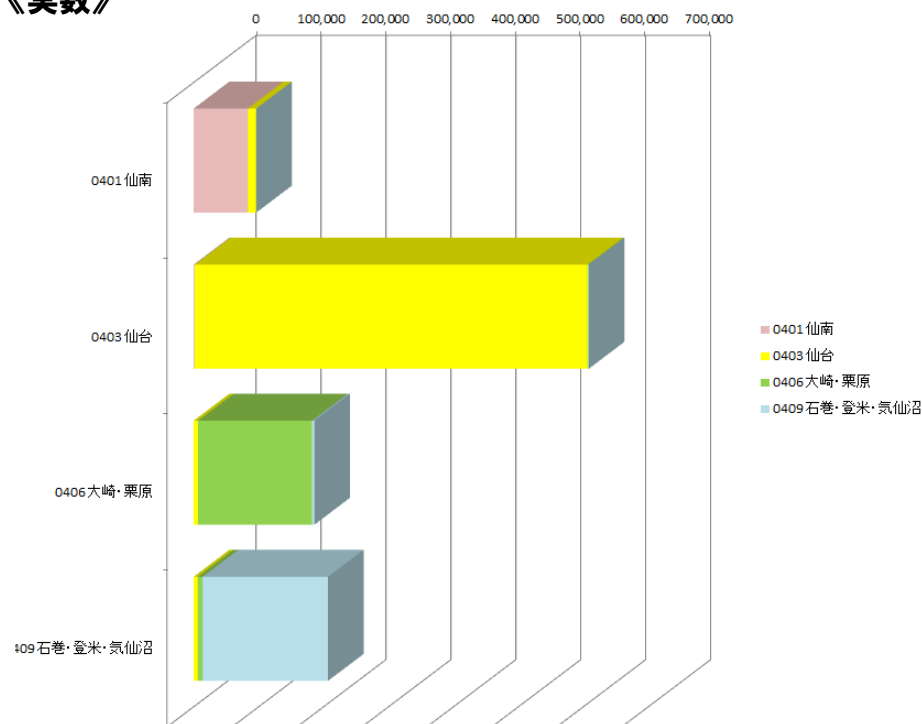
入院

《実数》



外来

《実数》



《流出率》

(単位: %)

		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	84.1%	15.9%			100.0%
	仙台	1.2%	97.6%	0.9%	0.2%	100.0%
	大崎・栗原		8.0%	89.3%	2.7%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼		6.5%	9.2%	84.3%	100.0%

《流出率》

(単位: %)

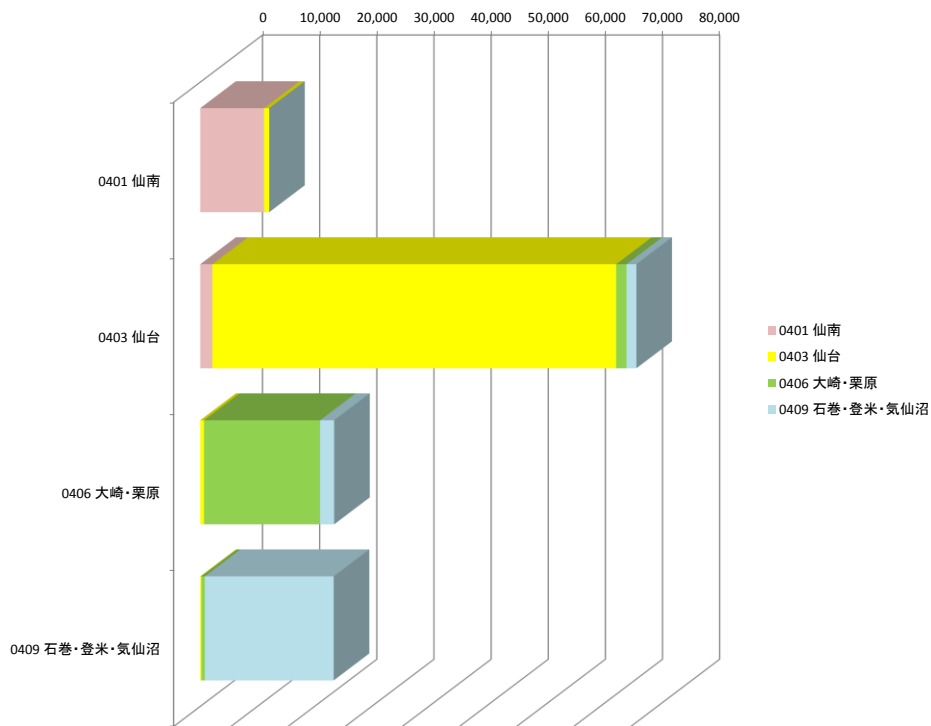
		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	86.5%	13.4%	0.0%		100.0%
	仙台	0.3%	99.4%	0.2%	0.1%	100.0%
	大崎・栗原		3.5%	94.6%	1.9%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼	0.0%	2.9%	3.8%	93.3%	100.0%

2-13 主な疾病における患者の受療動向④ ～脳卒中（流入）～

・脳卒中は、全ての医療圏において、入院患者・外来患者とも20%を超えた流入もみられない。

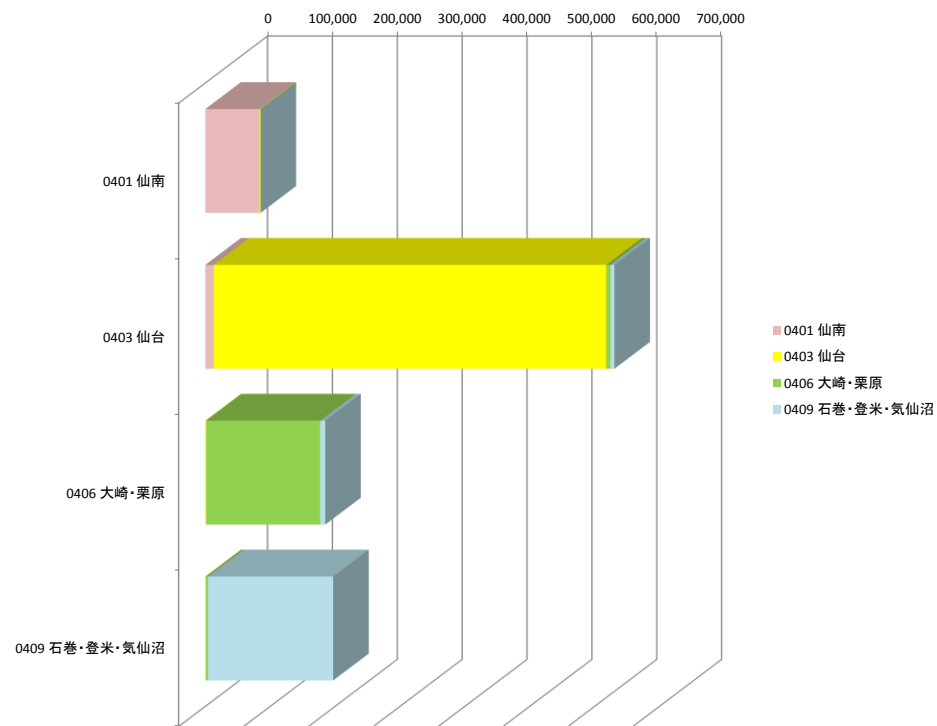
入院

《実数》



外来

《実数》



《流入率》

(単位: %)

所在地 医療機関	患者居住地				計
	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
仙南	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	100.0%
仙台	2.8%	92.6%	2.4%	2.3%	100.0%
大崎・栗原	0.0%	2.8%	86.7%	10.5%	100.0%
石巻・登米・気仙沼	0.0%	0.8%	2.6%	96.6%	100.0%

《流入率》

(単位: %)

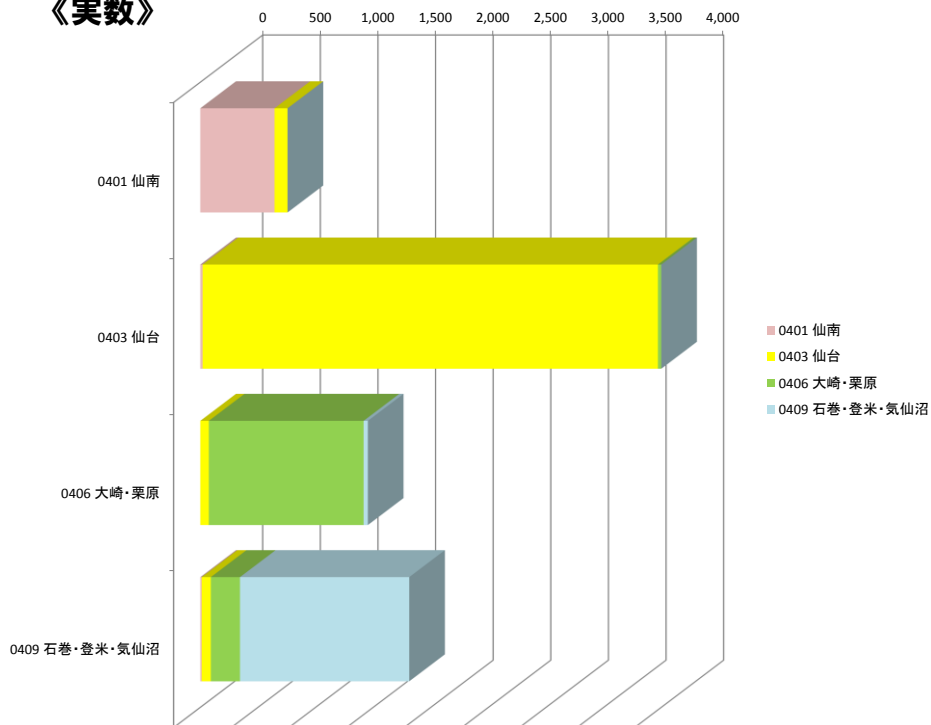
所在地 医療機関	患者居住地				計
	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
仙南	98.0%	2.0%	0.0%	0.1%	100.0%
仙台	2.1%	95.9%	1.0%	1.0%	100.0%
大崎・栗原	0.0%	0.7%	95.1%	4.2%	100.0%
石巻・登米・気仙沼	0.0%	0.3%	1.7%	97.9%	100.0%

2-14 主な疾病における患者の受療動向⑤ ～急性心筋梗塞（流出）～

・急性心筋梗塞は、全ての医療圏において、入院患者・外来患者とも20%を超えた流出はみられない。

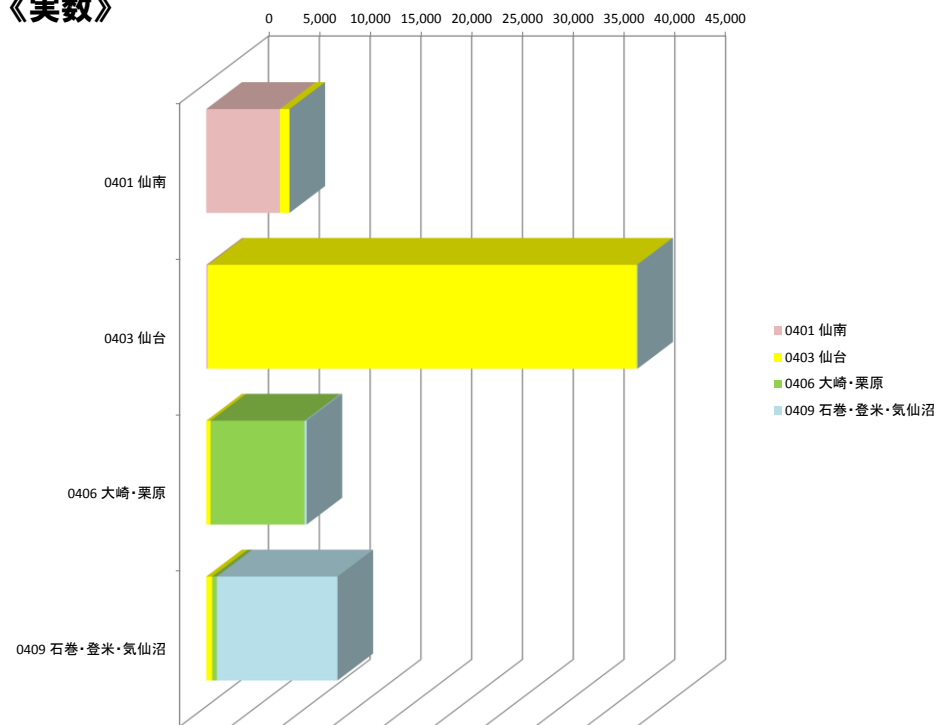
入院

《実数》



外来

《実数》



《流出率》

(単位: %)

		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	85.1%	14.9%			100.0%
	仙台	0.5%	98.8%	0.7%		100.0%
	大崎・栗原		5.1%	92.4%	2.5%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼	0.7%	4.4%	14.0%	81.0%	100.0%

《流出率》

(単位: %)

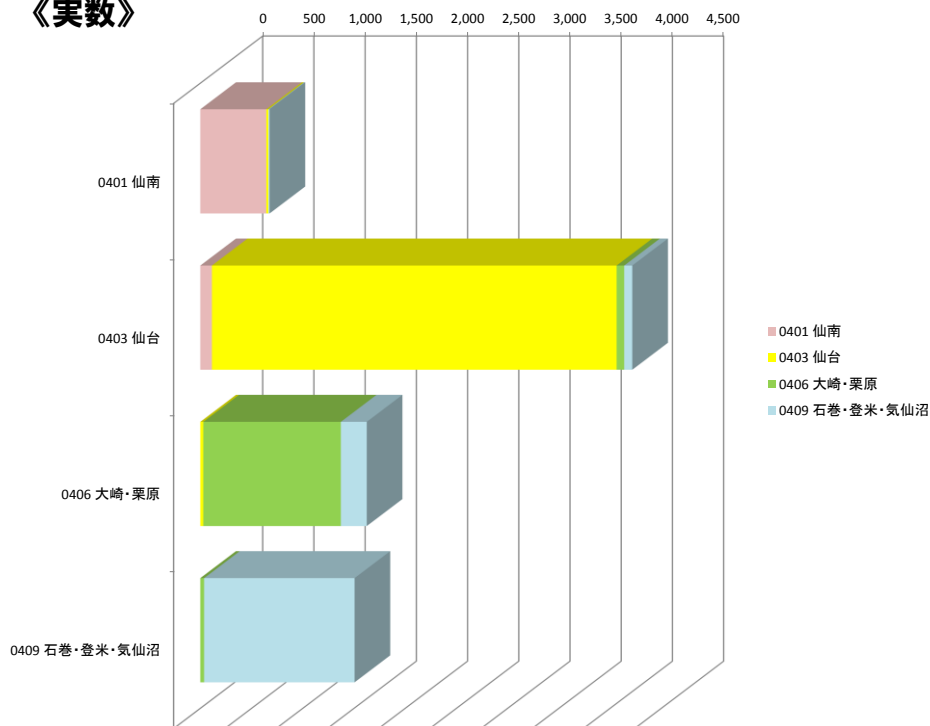
		医療機関所在地				計
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
居住地	仙南	88.5%	11.5%			100.0%
	仙台	0.4%	99.4%	0.1%	0.1%	100.0%
	大崎・栗原		4.2%	93.6%	2.1%	100.0%
	石巻・登米・気仙沼		4.5%	3.6%	91.9%	100.0%

2-15 主な疾病における患者の受療動向⑥ ～急性心筋梗塞（流入）～

・急性心筋梗塞は、全ての医療圏において、入院患者・外来患者とも20%を超えた流入もみられない。

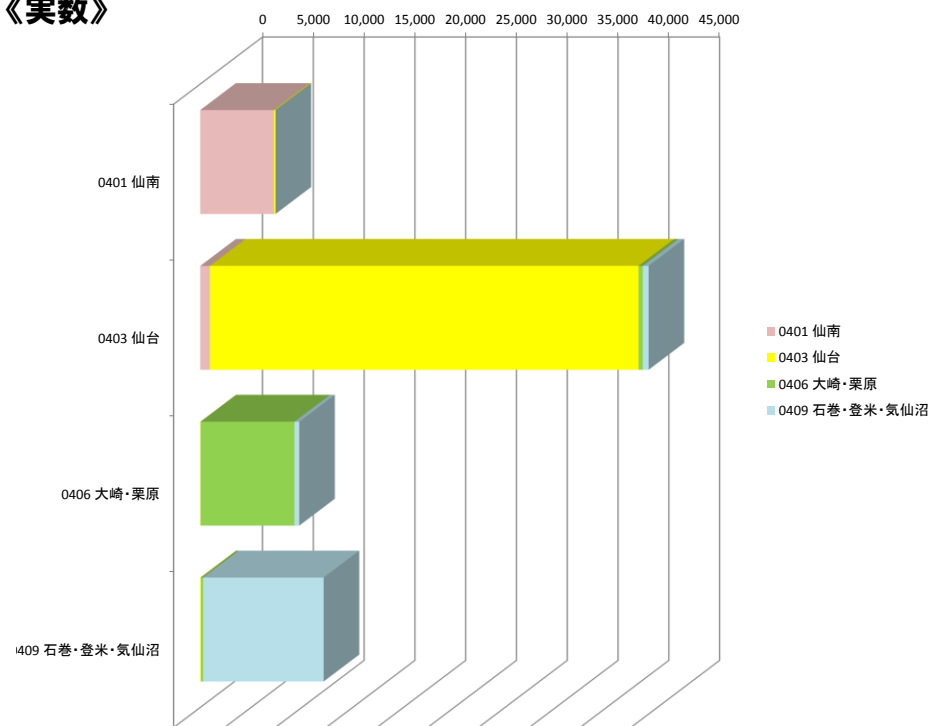
入院

《実数》



外来

《実数》



《流入率》

(単位: %)

所在地 医療機関	患者居住地				計
	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
仙南	95.3%	3.0%	1.8%	1.8%	100.0%
仙台	2.7%	93.7%	1.8%	1.9%	100.0%
大崎・栗原	0.0%	1.8%	82.6%	15.6%	100.0%
石巻・登米・気仙沼	0.0%	0.0%	2.5%	97.5%	100.0%

《流入率》

(単位: %)

所在地 医療機関	患者居住地				計
	仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	
仙南	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
仙台	2.1%	95.6%	0.9%	1.3%	100.0%
大崎・栗原	0.0%	0.2%	94.9%	4.8%	100.0%
石巻・登米・気仙沼	0.0%	0.5%	1.7%	97.8%	100.0%

2-16 現在の入院患者の流出入動向①

2013年度の入院患者の流出入状況

(単位:人/日)

			医療機関所在地								合計	
			宮城県				他県					
			仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	山形県	福島県	その他		
患者 住所 地	宮 城 県	仙南	837.5	377.1	0.0	0.0	0.0	0.0	25.3	0.0	1,239.9	13,011.0
		仙台	87.6	7,486.2	72.0	44.2	0.0	17.2	16.8	0.0	7,724.0	
		大崎・栗原	0.0	362.2	1,441.3	33.4	25.4	0.0	0.0	0.0	1,862.3	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	452.8	175.4	1,522.9	33.7	0.0	0.0	0.0	2,184.8	
	他 県	青森県	0.0	12.1	0.0	0.0						
		岩手県	0.0	97.8	17.2	11.0						
		山形県	0.0	31.6	0.0	0.0						
		福島県	0.0	171.6	0.0	0.0						
		その他	0.0	42.7	0.0	0.0						
	合計		925.1	9,034.1	1,705.9	1,611.5					13,276.7	

(注1) 厚生労働省の推計ツールにより算出したもの。

(注2) 特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため、0を除く10未満の数値は、網掛けした上で「0.0」と表示している。

(注3) したがって、医療機関所在地の合計「13,266.7」と、現在の医療需要の合計値「13,484.5」とは一致しない。

- 仙台医療圏に住所を有する入院患者の97%が当該医療圏内に入院
- 仙南医療圏は、68%が当該医療圏内に、30%が仙台医療圏内に入院
- 大崎・栗原医療圏は、77%が当該医療圏内に、19%が仙台医療圏内に入院
- 石巻・登米・気仙沼医療圏は、70%が当該医療圏内に、21%が仙台医療圏内に、8%が大崎・栗原医療圏内に入院
- 隣接県を中心に他県との流出入がみられ、他県への流出が118.4人/日、他県からの流入が384.0人/日との265.6人/日の流入超過
- 他県の患者の9割以上が仙台医療圏内に入院

2-17 医療圏別流出入状況② ～病床機能別の流出入状況～

(1) 高度急性期患者の流出入状況 (2013年度)

(単位:人/日)

		医療機関所在地									合計	
		宮城県				他県						
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	山形県	福島県	その他			
患者 住 所 地	宮 城 県	仙南	61.1	59.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	120.1	1,444.7
		仙台	0.0	944.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	944.6	
		大崎・栗原	0.0	47.7	119.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	167.0	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	66.6	14.6	131.8	0.0	0.0	0.0	0.0	213.0	
	他 県	青森県	0.0	12.1	0.0	0.0						
		岩手県	0.0	25.7	0.0	11.0						
		山形県	0.0	13.6	0.0	0.0						
		福島県	0.0	23.5	0.0	0.0						
		その他	0.0	8.7	0.0	0.0						
	合計		61.1	1,201.5	133.9	142.8						

(注) 特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため、0を除く10未満の数値は、網掛けした上で「0.0」と表示している。

(2) 急性期・回復期・慢性期患者の流出入状況 (2013年度)

(単位:人/日)

		医療機関所在地									合計		
		宮城県				他県							
		仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	山形県	福島県	その他				
患者 住 所 地	宮 城 県	仙南	776.4	318.1	0.0	0.0	0.0	0.0	*	25.3	0.0	1,119.8	11,566.4
		仙台	* 87.6	6,541.6	* 72.0	* 44.2	0.0	* 17.2	* 16.8	0.0	0.0	6,779.4	
		大崎・栗原	0.0	314.5	1,322.1	* 33.4	* 25.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1,695.4	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	386.2	160.8	1,391.1	* 33.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1,971.8	
	他 県	青森県	0.0	0.0	0.0	0.0							
		岩手県	0.0	72.1	* 17.2	0.0							
		山形県	0.0	18.0	0.0	0.0							
		福島県	0.0	148.1	0.0	0.0							
		その他	0.0	34.0	0.0	0.0							
	合計		864.0	7,832.6	1,572.1	1,468.7							

(注1) 特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため、0を除く10未満の数値は、網掛けした上で「0.0」と表示している。

(注2) 「*」が付いているセルは、前ページの表と比較することにより、高度急性期の10未満の患者数が得られてしまうため、便宜的に高度急性期の患者数を含んだ数値にしている。

2-18 現在の医療需要（推計）

現在（2013年度）の医療需要（推計値）・・・医療機関所在地ベース

（単位：人／日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	在宅医療等	うち 訪問診療分	医療需要 合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満		注) 病床稼働率で除 していない需要			
仙南	66.2	258.8	282.7	328.7	936.3	1,450.0	460.1	2,386.4
仙台	1,202.9	3,187.0	2,979.5	1,836.7	9,206.1	11,121.1	5,586.0	20,327.2
大崎・栗原	140.4	446.7	514.4	614.2	1,715.6	2,706.0	1,003.6	4,421.6
石巻・登米・気仙沼	141.8	503.9	665.6	315.4	1,626.6	3,533.5	1,643.2	5,160.0
宮城県計	1,551.2	4,396.3	4,442.2	3,094.9	13,484.5	18,810.6	8,692.9	32,295.2

（注）レセプトデータ等を基に、国の推計ツールにより推計。

2-19 医療圏別・病床の機能区分別病床数の現状

現在（2015年4月1日）の病床供給状況（推計値）・・・医療機関所在地ベース

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満		
仙南	88.2	331.8	314.1	697.9	1,432.0
仙台	1,603.8	4,085.9	3,310.6	4,137.7	13,138.0
大崎・栗原	187.1	572.7	571.6	1,321.6	2,653.0
石巻・登米・気仙沼	189.0	646.0	739.5	1,063.5	2,638.0
宮城県計	2,068.2	5,636.3	4,935.8	7,220.7	19,861.0

【本表の説明】

- ①「合計」欄の数値は、保健医療計画上の既存病床（2015.4.1）に、平成17年度以前に届出があり現在まで廃止届のない有床診療所の病床数を加えた病床数。（稼働していない病床数も含む。）
 - ②高度急性期～回復期の数値は、レセプトデータを基に、医療資源投入量で患者数を推計し、病床稼働率（高度急性期75%、急性期78%、回復期90%）で割り戻して推計した病床数。
 - ③慢性期の数値は、合計の病床数から、②により算出される高度急性期～回復期の値を単純に差し引いたもの。したがって、ここには、療養病床のほか、休床中の病床や、175点未満の患者をみている一般病床が含まれる。
- ※保健医療計画上の既存病床とは、許可病床から、利用者が制限される職域病院の病床を除いたもの。

【参考】病床機能報告結果（2014.7.1時点）

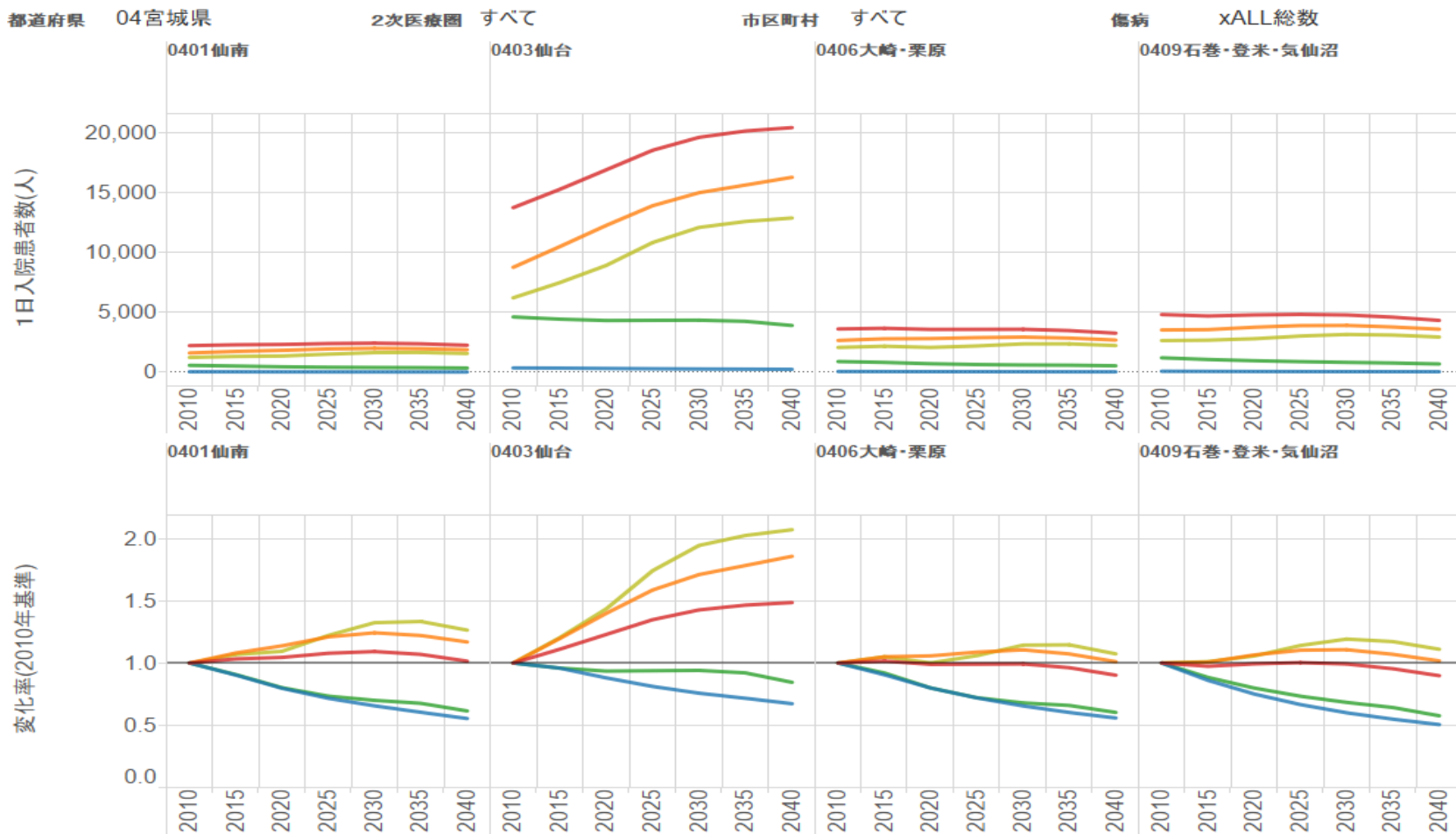
（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期			慢性期				無回答	合計
			回復期リハ 1～3	地域包括 ケア		療養1～2	障害者 施設等	特殊疾患			
仙南	298	657	238	34	0	412	332	0	0	-	1,605
仙台	2,812	7,405	872	597	0	2,442	962	1,000	160	193	13,724
大崎・栗原	33	1,623	61	40	0	840	551	41	0	26	2,583
石巻・登米・気仙沼	30	1,717	285	97	0	665	257	41	0	-	2,697
宮城県計	3,173 15.4%	11,402 55.3%	1,456 7.1%	817 -	0 -	4,359 21.2%	2,102 -	1,082 -	160 -	219 1.1%	20,609 100.0%

- （注）回復期リハ1～3 回復期リハビリテーション病棟入院料1・2・3
 ・地域包括ケア 地域包括ケア病棟入院料1・2、地域包括ケア入院医療管理料1・2
 ・療養1～2 療養病棟入院基本料1・2
 ・障害者施設等 障害者施設等7対1・10対1・13対1・15対1入院基本料
 ・特殊疾患 特殊疾患病棟入院料1・2

3 病床機能別必要病床数（推計）及び 居宅等における医療の必要量（推計）

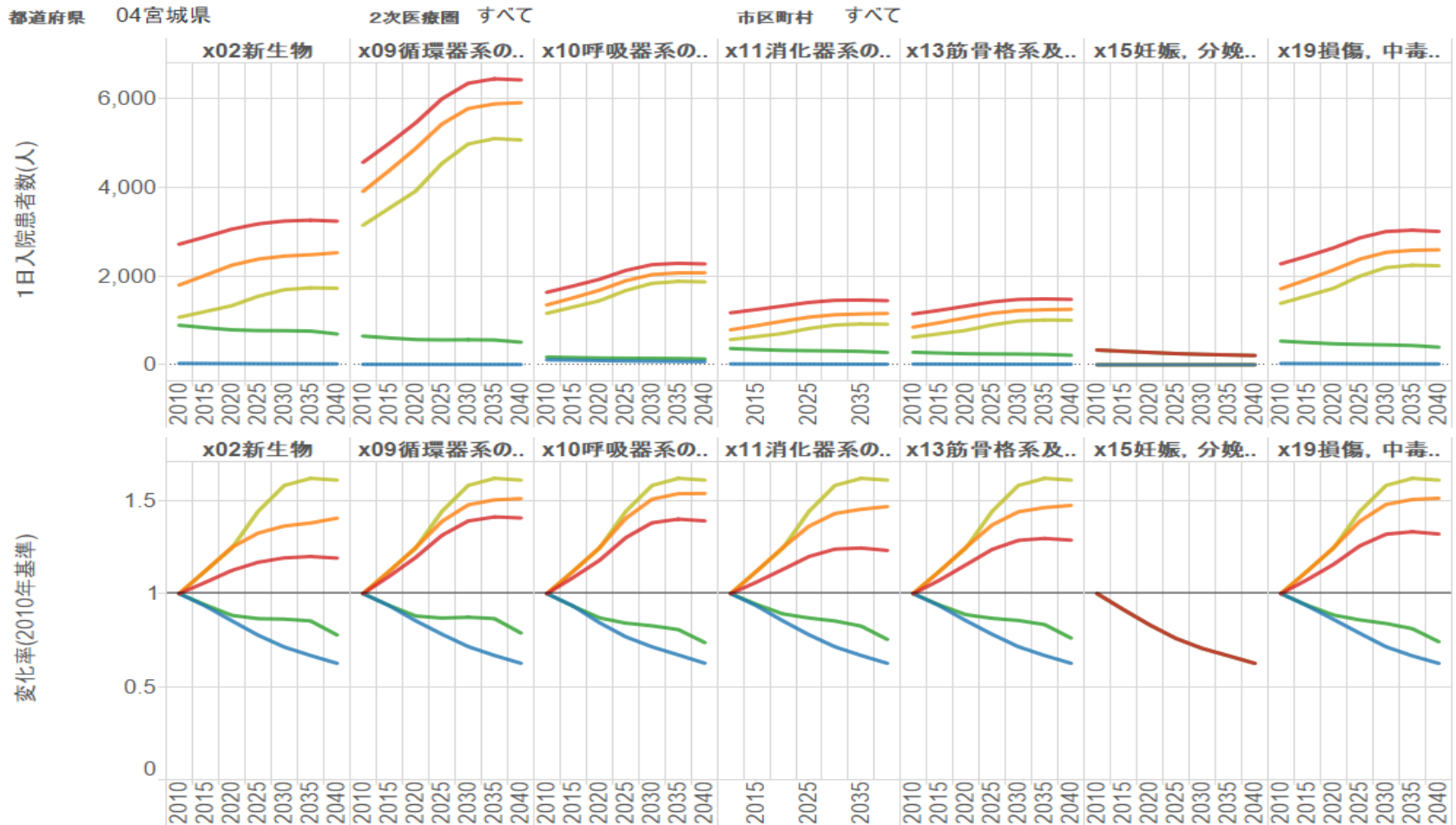
3-1 将来の推計患者数① ～医療圏別・年齢階級別患者数の見通し～



H23患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

今後10年間で総人口が減少する中、患者総数は横ばい（仙台医療圏は2割以上の増加）で推移する。なお65歳以上の患者数は微増（仙台医療圏は3割超の増加）と見込まれる。

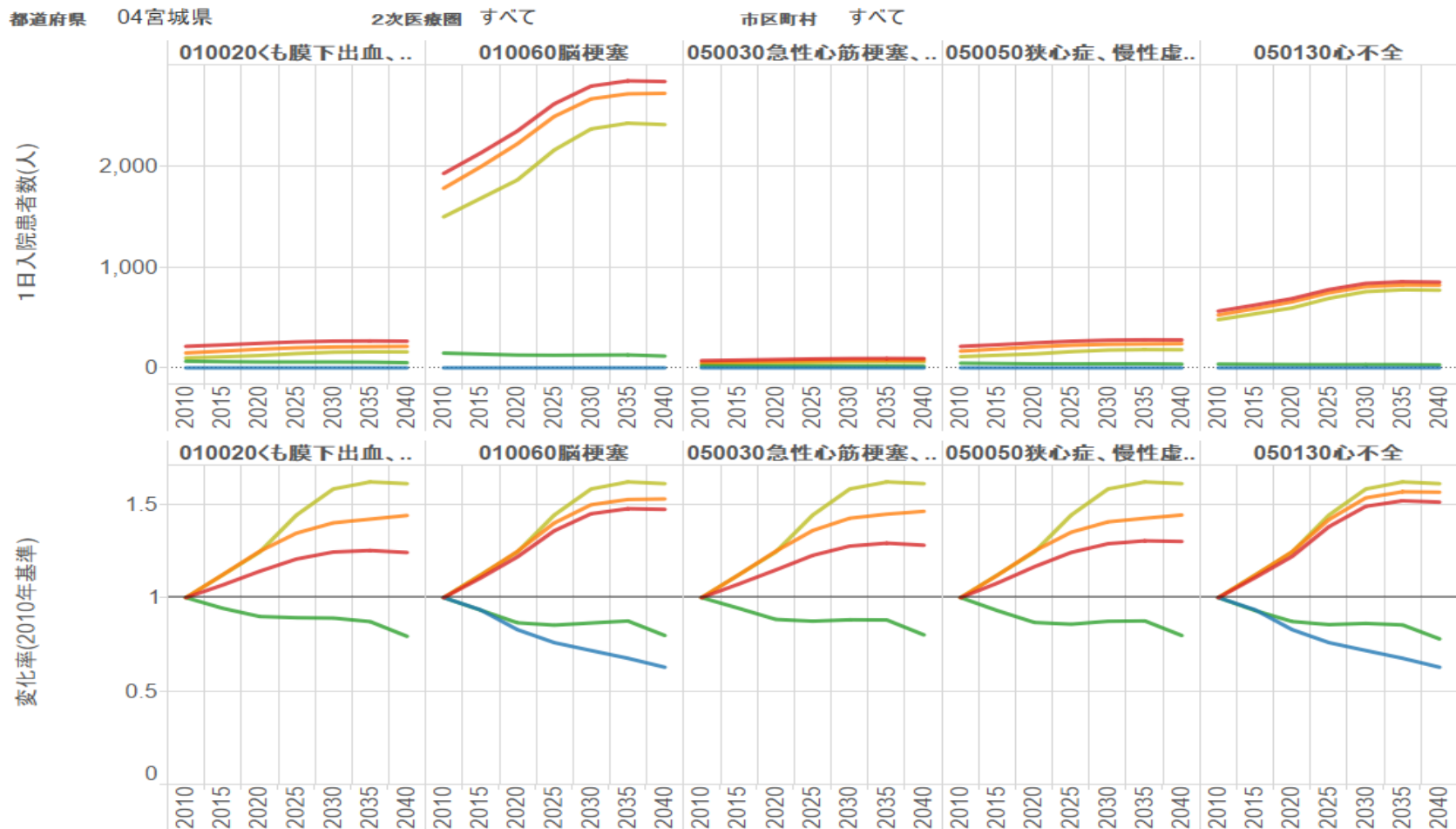
3-2 将来の推計患者数② ～主な領域における推計患者数の見通し～



H23患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

「妊娠、分娩及び産じょく」の領域では継続的に減少する、その他の領域では64歳未満の患者は減少し、65歳以上が増加、結果として患者総数は増加する見通しである。とりわけ「循環器系の疾患」が率、実数とも大きく増加する見込みである。

3-3 将来の推計患者数③ ～循環器疾患の推計患者数の見通し～



H23患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

循環器系疾患について、今後10年間では、上記5分野とも1～2割増加する。特に、実数でみた場合、「脳梗塞」の入院患者数の伸びが大きく、1日当たり500人近い患者数の増加が見込まれる。

3-4 将来の医療需要（推計値）

2025年の医療需要（推計値）・・・現行の流出入割合と同一のケース（ α ）

（単位：人／日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	在宅医療等	うち 訪問診療分	医療需要 合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満		注) 病床稼働率で除 していない需要			
仙南	69.6	278.1	318.9	301.7	968.3	1,750.2	538.8	2,718.4
仙台	1,348.7	3,899.1	3,855.9	2,400.3	11,504.1	17,175.8	8,763.2	28,679.9
大崎・栗原	136.7	442.3	520.2	524.9	1,624.1	2,856.7	1,016.4	4,480.9
石巻・登米・気仙沼	144.4	531.0	723.7	353.3	1,752.4	4,042.6	1,880.0	5,795.1
宮城県計	1,699.4	5,150.6	5,418.8	3,580.2	15,849.0	25,825.3	12,198.4	41,674.3

2025年の医療需要（推計値）・・・需要供給を二次医療圏内で完結させるケース（ β ）

（単位：人／日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	在宅医療等	うち 訪問診療分	医療需要 合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満		注) 病床稼働率で除 していない需要			
仙南	123.2	395.6	422.7	307.4	1,248.9	1,788.2	533.1	3,037.1
仙台	1,146.3	3,466.5	3,456.3	2,259.3	10,328.4	16,944.3	8,705.6	27,272.7
大崎・栗原	167.7	516.7	602.1	435.5	1,721.9	2,880.6	1,040.4	4,602.5
石巻・登米・気仙沼	214.2	693.6	883.1	551.3	2,342.3	4,239.4	1,976.2	6,581.7
宮城県計	1,651.5	5,072.3	5,364.2	3,553.6	15,641.5	25,852.6	12,255.3	41,494.1

2025年の医療需要（推計値）・・・高度急性期を現行の流出入割合、急性期～慢性期を二次医療圏内で完結させるケース（ γ ）

（単位：人／日）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	在宅医療等	うち 訪問診療分	医療需要 合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満		注) 病床稼働率で除 していない需要			
仙南	69.6	395.6	422.7	307.4	1,195.2	1,788.2	533.1	2,983.4
仙台	1,348.7	3,466.5	3,456.3	2,259.3	10,530.9	16,944.3	8,705.6	27,475.2
大崎・栗原	136.7	516.7	602.1	435.5	1,690.9	2,880.6	1,040.4	4,571.6
石巻・登米・気仙沼	144.4	693.6	883.1	551.3	2,272.4	4,239.4	1,976.2	6,511.8
宮城県計	1,699.4	5,072.3	5,364.2	3,553.6	15,689.4	25,852.6	12,255.3	41,542.0

3-5 将来の必要病床数（試算値）

・3-4で示した3通りの将来の医療需要に対応する必要病床数を以下のとおり試算した。

2025年の必要病床数（試算値）・・・現行の流出入割合と同一のケース（ α ）

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満	パターンB	
仙南	92.8	356.6	354.3	327.9	1,131.6
仙台	1,798.3	4,998.9	4,284.4	2,609.0	13,690.6
大崎・栗原	182.2	567.1	578.0	570.5	1,897.9
石巻・登米・気仙沼	192.5	680.8	804.1	384.0	2,061.5
宮城県計	2,265.9	6,603.3	6,020.8	3,891.5	18,781.6

【推計方法】

- ①二次医療圏間の流出入割合について、現行の比率を使って推計。
- ②高度急性期～回復期の病床数は、レセプトデータを基に、医療資源投入量で患者数を推計し、病床稼働率（高度急性期75%、急性期78%、回復期90%）で割り戻して推計。
- ③慢性期の病床数は、療養病床区分Ⅰの70%と一般病床の医療資源投入量175点未満にあたる患者を在宅に移行する前提で推計。
- ④慢性期の病床数の算出に当たっては、全ての構想区域（二次医療圏）が全国最小値まで入院受療率を低下する「パターンA」と、全国最大値の入院受療率が全国中央値まで低下する割合を用いる「パターンB」があるが、ここでは「パターンB」を採用して推計。

2025年の必要病床数（試算値）・・・需要供給を二次医療圏内で完結させるケース（ β ）

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満	パターンB	
仙南	164.3	507.1	469.6	334.1	1,475.2
仙台	1,528.4	4,444.2	3,840.3	2,455.8	12,268.8
大崎・栗原	223.6	662.4	669.0	473.4	2,028.3
石巻・登米・気仙沼	285.7	889.2	981.3	599.3	2,755.4
宮城県計	2,201.9	6,502.9	5,960.2	3,862.6	18,527.6

【推計方法】

- ①二次医療圏間の流出入が全くない前提で推計。
- ②上記①以外は、現行の流出入割合と同一のケース（ α ）と同じ条件で推計。

2025年の必要病床数（試算値）・・・高度急性期は現行の流出入割合、急性期～慢性期のみ二次医療圏で完結させるケース（ γ ）

（単位：床）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
	3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満	パターンB	
仙南	92.8	507.1	469.6	334.1	1,403.6
仙台	1,798.3	4,444.2	3,840.3	2,455.8	12,538.6
大崎・栗原	182.2	662.4	669.0	473.4	1,987.0
石巻・登米・気仙沼	192.5	889.2	981.3	599.3	2,662.3
宮城県計	2,265.9	6,502.9	5,960.2	3,862.6	18,591.6

【推計方法】

- ①二次医療圏間の流出入割合について、高度急性期は現行の比率を使って推計。急性期から慢性期は、二次医療圏間の流出入が全くない前提で推計。
- ②上記①以外は、現行の流出入割合と同一のケース（ α ）と同じ条件で推計。

3-6 居宅等における医療の必要量

- ・地域医療構想には、「居宅等における医療の必要量」を定める必要があり、その推計値は、3-4で示したとおり。
- ・当該必要量の確保に向けた基本的考え又は方策等を地域医療構想で言及する必要はないものの、3-4で示した「在宅医療等」の「うち訪問診療分」等については、医療分野でその必要量を確保していく必要があることから、その見通しを踏まえながら、必要病床の確保(転換等)を図ることが求められる。

【参考】 将来の居宅等における医療の必要量の算定方法

→ 以下①～⑤の合計数とする

- ①慢性期入院患者のうち当該構想区域に住所を有する者であって、医療区分Ⅰである患者の数の70%に相当する数。
- ②慢性期入院患者のうち当該構想区域に住所を有する者であって、入院受療率の地域差を解消していくことで在宅医療等の医療需要として推計する患者の数(①に掲げる数を除く。)
- ③医療資源投入量が225点未満の医療を受ける入院患者のうち当該構想区域に住所を有する者の数から、当該数のうちイ)在宅復帰に向けて調整を要する者(医療資源投入量175点以上225点未満)、ロ)回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する入院患者、ハ)リハビリテーションを受ける入院患者であってリハビリテーション料を加えた医療資源投入量が175点以上となる医療を受ける者の数を控除して得た数。
- ④当該構想区域の平成37年における性別及び年齢階級別人口に当該構想区域の訪問診療患者に係る性別及び年齢階級別受療率(在宅患者訪問診療料を算定する患者のうち当該構想区域に住所を有する者の性別及び年齢階級別の数に当該構想区域の性別及び年齢階級別人口で除して得た数)を乗じて得た数の合計数。
- ⑤当該構想区域の平成37年における性別及び年齢階級別人口に当該構想区域の介護老人保健施設入所者に係る性別及び年齢階級別入所需要率(介護老人保健施設の施設サービス利用者のうち当該構想区域に住所を有する者の性別及び年齢階級別の数に当該構想区域の性別及び年齢階級別人口で除して得た数)を乗じて得た数の合計数。

4 目指すべき医療提供体制の実現に向けた 留意点等

○在宅を含めた2013年の医療需要（約32千人／日）に対し、2025年の医療需要は約41千人／日と大幅に増加

※試算した3ケースで見ると、各医療圏の増加量（概算）は以下のとおり

仙南医療圏	330	～	650人／日
仙台医療圏	6,940	～	8,350人／日
大崎・栗原医療圏	60	～	180人／日
石巻・登米・気仙沼医療圏	630	～	1,420人／日

○病院及び有床診療所の機能別の病床数の確保（病床転換等）に当たっては、医師及び看護職等医療従事者の確保の見通しを念頭に置くことが重要

○また、各医療圏の必要病床数を検討する際は、患者の受療動向等だけでなく医療従事者の確保の見通しを含めた医療提供体制の実現性を推測することが重要

4－2 高齢者の増加に伴う疾病の変化への対応等

- 高齢者数の増加に伴い、急性心筋梗塞や脳卒中等の患者数が大幅に増加
- また、誤嚥性肺炎や骨粗鬆症に伴う骨折等の患者の増加も予測
- こうした疾病に的確に対応した機能別の病床や居宅等における医療提供体制を、各医療圏で確保することが重要

4-3 居宅等における医療提供体制の充実

○在宅医療のうち訪問診療分の医療需要は、2013年の約8,700人/日から、2025年には約12,200人/日へと3,500人/日も増加

※試算した3ケースで見ると、各医療圏の増加量（概算）は以下のとおり

仙南医療圏	70	～	80人/日
仙台医療圏	3,120	～	3,180人/日
大崎・栗原医療圏	10	～	40人/日
石巻・登米・気仙沼医療圏	240	～	330人/日

○こうした医療需要に対する医療提供体制についても、各地域の実情等を考慮しながら、実現性を検討する必要

【参考資料】

参考資料 1 介護老人保健施設等の整備状況

(単位:施設、人)

	介護老人保健施設		介護療養型医療施設		合計	
	施設数	入所定員	施設数	入所定員	施設数	入所定員
仙南	10	901	1	44	11	945
仙台	45	4,334	6	230	51	4,564
大崎・栗原	14	1,186	4	104	18	1,290
石巻・登米・気仙沼	18	1,741	0	0	18	1,741
合計	87	8,162	11	378	98	8,540

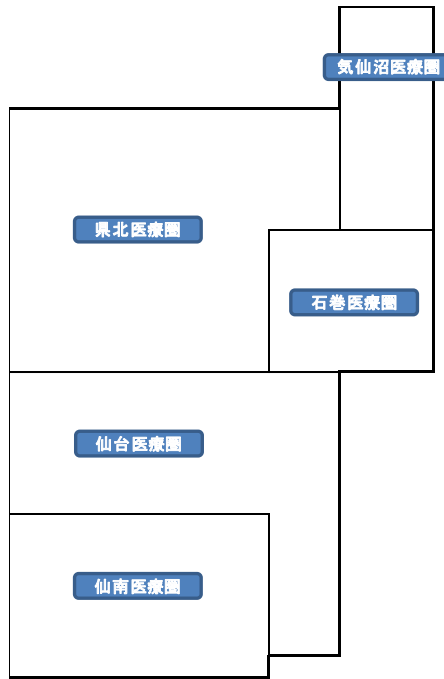
(注) 平成27年8月1日現在

	介護老人福祉施設	
	施設数	入所定員
仙南	21	1,030
仙台	70	4,608
大崎・栗原	24	1,428
石巻・登米・気仙沼	32	1,617
合計	147	8,683

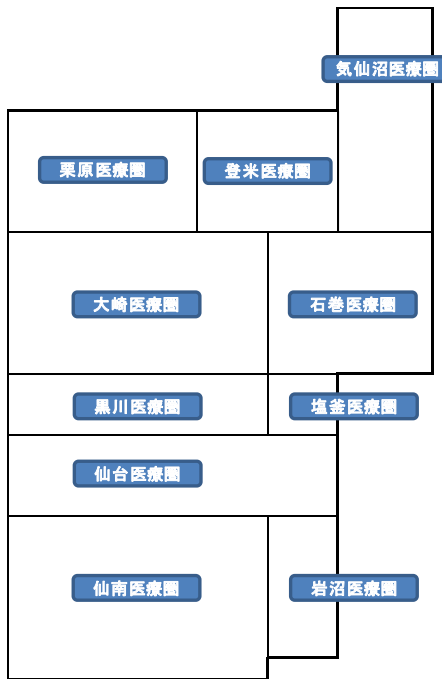
(注) 平成27年8月1日現在

参考資料2 二次医療圏の変遷① ～区域設定～

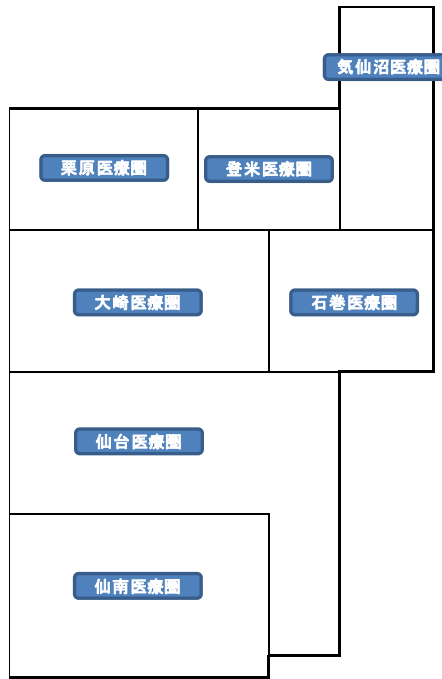
【第1～3次宮城県地域医療計画】
(平成元年度～平成17年度)



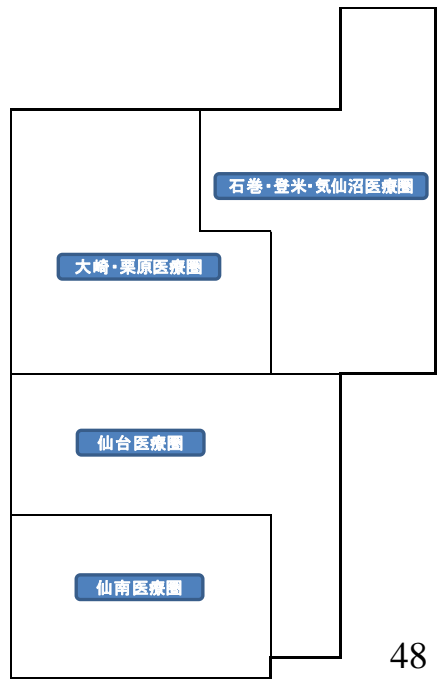
【第4次宮城県地域医療計画】
(平成15年度～平成22年度)



【第5次宮城県地域医療計画】
(平成20年度～平成24年度)



【第6次宮城県地域医療計画】
(平成25年度～平成29年度)



参考資料3 二次医療圏の変遷② ～基準病床数（必要病床数）の変遷～

(単位:床)

2次医療圏名		第1次 (H1～)	第2次 (H5～)	第3次 (H10～)	第4次 (H15～)	第5次 (H20～)	第6次 (H25～)	
仙南		1,291	1,321	1,324	1,423	1,409	1,450	
仙台	仙台	12,066	12,568	12,787	9,093	11,436	9,878	
	塩釜				1,143			
	岩沼				1,145			
	黒川				446			
大崎・栗原 (県北)	大崎	2,935	3,348	3,300	1,598	1,741	2,855	
	栗原				711			630
	登米				742			766
石巻・登米・気仙沼	石巻	990	1,734	1,625	1,605	1,619		
	気仙沼	867	992	858	821	801		
合 計		18,149	19,963	19,894	18,727	18,402	17,174	

(注1)計画の括弧内は、計画期間の開始年度を示す。

(注2)第1～3次計画までは「必要病床」、第4次から「基準病床」(平成13年3月施行の医療法改正による)

(注3)第4次から、「その他の病床」が、「療養病症」と「一般病床」に区分。

参考資料4 急性期・回復期・慢性期患者の流出入状況（2-17（2）を細分化したもの）

(1) 急性期患者の流出入状況(2013年度)

(単位:人/日)

			医療機関所在地						合計	
			宮城県				他県			
			仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	福島県		
患者 住所地	宮城県	仙南	242.3	119.4	0.0	0.0	0.0	11.5	373.2	4,213.8
		仙台	12.8	2,649.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2,662.2	
		大崎・栗原	0.0	106.8	399.7	12.0	0.0	0.0	518.5	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	149.3	35.0	475.6	0.0	0.0	659.9	
	他県	岩手県	0.0	19.6	0.0	0.0				
		福島県	0.0	31.6	0.0	0.0				
		その他	0.0	10.6	0.0	0.0				
	合計		255.1	3,086.7	434.7	487.6			4,264.1	

(2) 回復期患者の流出入状況(2013年度)

(単位:人/日)

			医療機関所在地						合計	
			宮城県				他県			
			仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	福島県		
患者 住所地	宮城県	仙南	266.7	107.6	0.0	0.0	0.0	10.9	385.2	4,612.2
		仙台	12.9	2,482.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,494.9	
		大崎・栗原	0.0	118.2	463.1	14.0	0.0	0.0	595.3	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	138.9	366.6	631.3	0.0	0.0	1,136.8	
	他県	岩手県	0.0	13.5	0.0	0.0				
		福島県	0.0	27.9	0.0	0.0				
		その他	0.0	11.4	0.0	0.0				
	合計		279.6	2,899.5	829.7	645.3			4,654.1	

(3) 慢性期患者の流出入状況(2013年度)

(単位:人/日)

			医療機関所在地						合計	
			宮城県				他県			
			仙南	仙台	大崎・栗原	石巻・登米・気仙沼	岩手県	福島県		
患者 住所地	宮城県	仙南	267.4	91.1	0.0	0.0	0.0	0.0	358.5	2,960.8
		仙台	58.2	1,410.1	54.1	25.6	0.0	11.2	1,559.2	
		大崎・栗原	0.0	89.4	459.3	0.0	10.5	0.0	559.2	
		石巻・登米・気仙沼	0.0	98.0	89.1	284.2	12.6	0.0	483.9	
	他県	岩手県	0.0	0.0	10.7	0.0				
		福島県	0.0	53.8	0.0	0.0				
	合計		325.6	1,742.4	613.2	309.8			2,991.0	